

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時17分15秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00880	読書活動支援者配置事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開				
予算事業	10843	01	10	01	03 06 01 01	読書活動支援者配置事業（教育指導費）
所属長	植田 聡		担当者（内線）浦 憲太（669-236）			
根拠法令等	読書活動支援者配置事業実施要領					
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	平成23年度			
改正内容	「臨時雇員の通勤補助費の支給に関する基準」の改正					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	市立小中学校の児童・生徒	
目標	児童・生徒の豊かで幅広い読書活動の推進	
結果	児童・生徒の学習意欲の向上	
事業概要	司書教諭免許または司書資格を持つ人を対象に読書活動支援者として配置し、学校図書館の充実を図るとともに、児童・生徒の豊かで幅広い読書活動を推進します。平成29年度は小学校32校で専任配置、小学校4校と中学校18校で2校兼務の配置となっています。平成30年度はすべての小学校で専任配置となります。	
実施方法	■ 直接実施	
	□ 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	主な委託内容	
□ 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
□ その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	52,178	32,006	62,434	52,138	61,518
人件費職員数(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	6,320	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	58,714	38,326	68,876	58,580	67,874
特定財源(C)	220	106	216	122	160
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	220	106	216	122	160
市負担(D)	58,494	38,220	68,660	58,458	67,714
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	58,494	38,220	68,660	58,458	67,714
財源計(C+D)	58,714	38,326	68,876	58,580	67,874

所属	指導室
事務事業番号	00880

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	読書活動支援者の実配置人員	人	目標値	45.00	45.00	45.00
			実績値	32.00	41.00	
			達成度(%)	71.10	91.10	
目標値の積算方法	全小・中学校への読書活動支援者配置人員	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,197.69	1,428.78	
			一般財源(千円)	1,194.38	1,425.80	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一人当たりの貸出冊数(小学校)	冊	目標値	40.00	40.00	40.00
			実績値	28.00	32.40	
			達成度(%)	70.00	81.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,368.79	1,808.02	
			一般財源(千円)	1,365.00	1,804.26	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	一人当たりの貸出冊数(中学校)	冊	目標値	8.00	8.00	8.00
			実績値	3.60	3.90	
			達成度(%)	45.00	48.80	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	10,646.11	15,020.51	
			一般財源(千円)	10,616.67	14,989.23	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。すべての小学校に1人の専任配置、中学校2校につき1人配置を維持するためには必要である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえるとおおむね妥当だが、今後、事業成果の目標を達成するには、人的配置のみならず、各校で読書活動の活性化を図る取組等が必要である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費の分析や指標数値の分析を踏まえると、すべての小学校に1人の専任配置、中学校2校につき1人配置を維持すること、また、併せて配置した読書活動支援者に対する研修の充実や、勤務時間の拡充、各校での読書活動の活性化を図る取組等の検討が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	読書活動支援者配置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00880				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		o. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>本事業は、各小中学校に読書活動支援者を配置し、学校図書館運営を支援することで、学校図書館の開館日等の拡充や、児童・生徒の十分な学校図書館の活用につながっています。また、支援者の学校図書館利用の働きかけにより、児童・生徒の豊かで幅広い読書活動を推進し、学校図書館教育の充実が図られているとともに、平成29年度の蔵書数が、学校図書標準に対し106.7%と上回っていることで、児童・生徒の読書機会や読書量が一層増え、読書への興味を増すなどの成果を上げております。より一層の児童・生徒への関わりや学校図書館担当者との連携の充実を図るためには、小学校での一校一人の専任配置の継続的な実施と、中学校での専任配置の検討、また、勤務時間数等の見直しが必要であると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時17分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00881	中学校非常勤講師配置事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開		
予算事業	10845	01	10	01 03 07 01 01 中学校非常勤講師配置事業（教育指導費）
所属長	植田 聡	担当者（内線） 櫻井 仁之（669-240）		
根拠法令等	中学校非常勤講師配置事業実施要領			
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	平成24年度	
改正内容	小学校第3学年と中学校第3学年を対象とし、常勤講師4名を任用していましたが、平成24年度から事業名を改め、中学校を対象に、授業のみを担当する非常勤講師2名を任用することとしました。			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	中学校の生徒		
目標	基本的な生活習慣や学習習慣の確立、きめ細かな対応による学習意欲の向上、進路指導の充実、35人学級の完全実施		
結果	一人ひとりの個性を重視した「確かな学力」の育成、豊かな人間関係の構築、学校生活の充実		
事業概要	学習面、生徒指導面におけるきめ細かな対応及び進路指導の充実を図るため、中学校に35人学級を導入するにあたり、必要な教員を吹田市独自で配置します。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,972	2,877	2,985	2,633	2,985
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	795
総事業費(A+B)	4,606	4,457	4,596	4,244	3,780
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,606	4,457	4,596	4,244	3,780
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,606	4,457	4,596	4,244	3,780
財源計(C+D)	4,606	4,457	4,596	4,244	3,780

所属	指導室
事務事業番号	00881

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	中学校非常勤講師の配置人員	人	目標値	2.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	中学校に35人学級を導入するにあたり、必要な人員を配置します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2,228.50	2,122.00	
			一般財源(千円)	2,228.50	2,122.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	問題行動(暴力行為)数	件	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	1.00	2.50	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	生活指導面のきめこまやかな対応により、問題行動(暴力行為)数を減らします。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,457.00	1,697.60	
			一般財源(千円)	4,457.00	1,697.60	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業効果はおおむね妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	中学校非常勤講師配置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00881				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00881
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>今後の国、府の動向から、小学校への教員派遣を見直しましたが、35人学級編制の教育的効果は高いことから、事業を継続する必要があると考えている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時18分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00882	小学校スタートアップ事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開		
予算事業	10846	01	10	01 03 08 01 01
所属長	植田 聡	担当者（内線）植田 陽介（669-239）		
根拠法令等	小学校スタートアップ事業実施要領			
事業開始年度	平成23年度	直近の改正	なし	
改正内容	なし			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	小学校第1学年の児童		
目標	学習理解の差異に応じた個別指導、授業中の安全管理の充実、不適応行動等を示す児童への個別対応の充実		
結果	小学校へのスムーズな移行を実現 学習面、生活面等の充実		
事業概要	幼稚園や保育所等から小学校への急激な学習・生活環境の変化の中でつまづきや戸惑いを見せたり、不適応行動をとり始めたりすることの多い小学校第1学年の児童に対して、「きめ細かな」指導を充実させ、スムーズな移行を図るとともに、虐待の兆候等を早期に発見、早期に対応することで問題解決につなげ、学習や生活をサポートするため、支援者の「スターター」を各校1名配置します。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	26,975	26,849	27,040	26,885	26,707
人件費職員数(人)	0.70	0.70	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	5,719	5,530	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	32,694	32,379	33,482	33,327	33,063
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	32,694	32,379	33,482	33,327	33,063
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	32,694	32,379	33,482	33,327	33,063
財源計(C+D)	32,694	32,379	33,482	33,327	33,063

所属	指導室
事務事業番号	00882

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スターターの配置人数	人	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	36.00	36.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	全小学校の第1学年に1名のスターターを配置します。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	899.42	925.75	
			一般財源(千円)	899.42	925.75	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	小学校第1学年の児童に対して、きめ細かな指導を充実させ、虐待の兆候等を早期に発見、早期に対応する。
成果内容	担任と複数の目で、児童一人ひとりに行き届いた支援を図ることができた。	達成状況	落ち着いた学校生活を送れ、きめ細かな個別対応、良好な人間関係の構築を図ることができました。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	【事業費等の評価】事業費は適切である。支援者のスターターの各校1名の配置を確保できるため。 【進捗状況の評価】現状では各校1名のスターター配置ができており、事業成果はおおむね妥当だが、大規模校への対応を考慮した場合、改善の余地がある。 【今後の方向性】小学校1年生の児童が就学に至るまでの生活や学習体験は、子どもを取り巻く生活環境の変化や価値観の多様化等により、多岐にわたっています。また、児童虐待は、子どもの心と身体に深い傷を残し、健全な成長や人格の形成に重大な影響を与えます。そのような中で、豊かな社会性をはぐくみ、児童虐待等の早期発見の機会が多い学校現場には、一人でも多く、子どもに寄り添い、子どもを支援する人材が必要であることから、今後も本事業を継続する必要があると考えます。また、学年5学級以上の大規模校においては、スターターの勤務時間が午前中の4時限であることから、スターターが一日のうちで全く入り込めないクラスが発生し十分な支援が行えないため、2名体制での配置を目指します。

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	小学校スタートアップ事業	事業区分	その他
事務事業番号	00882				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
④公平性を確保するための取組みをしていますか。	10	a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00882
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>幼稚園や保育所等から就学し、小学校での急激な学習・生活環境の変化の中で、つまづきや戸惑いを見せることの多い小学校1年生に対して、「スターター」を4月の新学期から配置することで、学習面や生活指導面の補助を行いつつ、遅れがちな児童への個別指導による学力の向上等に寄与しています。</p> <p>特に、言動面で不安定な児童に寄り添った丁寧なサポートを実践しており、子どもたちの成長・発達の見守りや虐待等の早期発見など、一人でも多くの子どもの寄り添い、支援する人材が必要です。しかしながら、大規模校においては、一人の支援者では十分な対応ができないため、学校規模に応じた複数配置をする等、事業を拡大する必要があると考えます。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時18分58秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00883	生徒指導推進事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
細節	13	教育内容の充実/心豊かな児童・生徒の育成			
予算事業	10820	01	10	01 03 03 01 01	生徒指導推進事業（教育指導費）
所屬長	植田 聡		担当者（内線）		櫻井 仁之（669-240）
根拠法令等					
事業開始年度	昭和58年度	直近の改正			
改正内容					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	公立小・中学校の児童・生徒、教職員、PTA、地域の青少年健全育成団体、吹田警察署等関係諸機関、生徒指導対策会議委員		
目標	中学生が意見交換をすることで、望ましい道徳観・規範意識の醸成を図る機会とするとともに、学校・家庭・地域が一体となって青少年の健全育成を図り、温かい地域づくりの発展に寄与する意識を高揚させる機会とする。		
結果	中学生がよりよい生き方を見出すことができるとともに、地域の大人が中学生の意見交流の様子を見守ることで、青少年問題に関する課題とその解決に向けて協調していくための方向性と役割を見いだすことができる。		
事業概要	市内18校の中学校の代表による意見交流会を行い、「吹田市中学校『中学生の主張』大会」を実施し各校の代表による発表を行うとともに、大阪府生徒会サミットに参加した中学校が、府内中学校の生徒会の取組を市内全中学校で共有できるように報告を行っている。各中学校においては、代表決定に至るまで、生徒会による取組、総合的な学習の時間等での発表等、独自に発展させている。また、大会に向けての資料準備、生徒の指導、運営委員会の開催等を行い、円滑な大会運営を実施している。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	309	284	317	191	329
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.30	0.30	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	2,416	2,416	2,384
総事業費(A+B)	4,394	4,234	2,733	2,607	2,713
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,394	4,234	2,733	2,607	2,713
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,394	4,234	2,733	2,607	2,713
財源計(G+D)	4,394	4,234	2,733	2,607	2,713

所属	指導室
事務事業番号	00883

2頁
平成30年 6月13日
19時18分58秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	中学生の主張大会参加校数	校	目標値	18.00	18.00	18.00
			実績値	18.00	18.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	全中学校	単位当たりコスト	総事業費(千円)	235.22	144.83	
			一般財源(千円)	235.22	144.83	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	中学生の主張大会運営に関わる生徒数	人	目標値	23.00	23.00	23.00
			実績値	22.00	23.00	
			達成度(%)	95.70	100.00	
目標値の積算方法	中学生の主張大会運営に関わる生徒数(司会3名、発表者各校1名、手話通訳1名、生徒会サミット報告1名の合計)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	192.45	113.35	
			一般財源(千円)	192.45	113.35	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業効果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	生徒指導推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00883				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00883
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>例年1月に市内18校の中学校の代表による意見交流の場として、中学生の主張大会を実施しており、代表による主張発表が行われている。 各校においては、大会出場に向け、予選を設け発表の機会を設けるなど、生徒会の取組み、総合的な学習の時間等の発表活動等に発展させ、望ましい道徳観・規範意識の醸成に寄与している。少年指導員、少年補導員、地域教育協議会、吹田市PTA協議会、青少年指導員会、吹田市青少年問題協議会、青少年対策委員会、地域の方々及び保護者も大会に参加している。青少年問題に関する課題とその解決に向けて協調していくための方向性と役割を見いだすうえで重要な役割を担っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時19分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00885	英語教育推進事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	16	教育内容の充実／国際化・情報化社会に対応した教育の展開							
予算事業	10824	01	10	01	03	03	02	01	英語教育推進事業（教育指導費）
所属長	植田 聡		担当者（内線）橋本 道信（669-238）						
根拠法令等	吹田市外国人英語指導助手の服務に関する要項								
事業開始年度	平成10年度		直近の改正		平成23年度				
改正内容	平成10年度から実施していた「英語指導助手配置事業」と、平成18年度から実施していた「小学校英語活動推進事業」を事業統合した。								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	全公立小学校児童・全公立中学校生徒		
目標	全公立小・中学校に、年間を通じて英語指導助手を配置し、外国語（英語）教育の充実を図る。		
結果	児童のコミュニケーション能力の素地を養い、生徒の英語に関する4技能のうち、特に聞く・話す能力の向上とともに、国際的なコミュニケーション能力の育成を図ることができる。		
事業概要	外国語（英語）教育の充実を図るとともに、国際理解教育を推進するために、英語を母語とする様々な国籍の英語指導助手を市内小・中学校に配置する。		
実施方法	■ 直接実施		
	■ 委託又は一部委託	委託先①	(株) プレーンパワー
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	派遣契約で中学校に5月～10月の期間。
		交付先①	
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	57,886	54,518	67,527	66,739	66,157
人件費職員数(人)	2.00	2.00	2.05	2.05	2.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	16,340	15,800	16,507	16,507	16,288
総事業費(A+B)	74,226	70,318	84,034	83,246	82,445
特定財源(C)	111	86	125	93	94
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	111	86	125	93	94
市負担(D)	74,115	70,232	83,909	83,153	82,351
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	74,115	70,232	83,909	83,153	82,351
財源計(G+D)	74,226	70,318	84,034	83,246	82,445

所属	指導室
事務事業番号	00885

2頁
平成30年 6月13日
19時19分26秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	小学校英語指導助手派遣のべ日数	日	目標値	1,428.00	2,360.00	2,360.00
			実績値	1,428.00	2,360.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年間派遣日数×小学校英語指導助手人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	49.24	35.27	
			一般財源(千円)	49.18	35.23	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	中学校英語指導助手授業実施のべ日数	日	目標値	1,782.00	1,818.00	1,800.00
			実績値	1,782.00	1,818.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年間授業実施日数×中学校英語指導助手人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	39.46	45.79	
			一般財源(千円)	39.41	45.74	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	英語教育の充実を図り、国際理解教育を推進するために英語を母語とする英語指導助手が授業の支援を行う。	目標	児童・生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上。
成果内容	小学校では、英語でのコミュニケーション能力の素地を養い、中学校では、特に聞く・話す能力の向上が図れる。	達成状況	目標どおり達成している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	【事業費等の評価】事業費は増額を検討する必要がある。(理由:英語指導助手の活用率の向上により、小学校ではコミュニケーション能力の素地を培うこと、中学校では4技能のうち、「聞く」「話す」の技能の向上を目指すため。) 【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業の目標を達成するためには活動量、活動量手段や方法を改善する必要がある。 【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、事業費が低いことにより活動量を確保できていないため、コミュニケーション能力向上に資するため、英語指導助手の配置に関する拡充が必要である。また生徒の英語能力向上のため、検定試験活用なども視野にいれた改善も必要である。		

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	英語教育推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00885				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、収納率には課題がある。(3点)	3点		
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
c. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00885
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小学校1年～4年生には年間10回程度、5・6年生には年間12回程度、中学校には5月から10月の間、英語指導助手を派遣している。新学習指導要領の改訂に伴う外国語の増加分により英語指導助手の配置拡大が課題である。学習指導要領に示される、小学校にはコミュニケーションの能力の素地を養い、中学生には、特に聞く・話す能力の向上を図るとともに、将来、吹田市から世界で活躍することができる人材が身につけておくべきグローバル社会におけるコミュニケーション能力の育成を図るべく、計画的に教育課程を実施しているが、英語指導助手の配置体制を検討する必要がある。また、中学生の英語能力を向上に資するため、検定の活用等も検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時19分54秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00886	英語コミュニケーション体験事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	16	教育内容の充実／国際化・情報化社会に対応した教育の展開							
予算事業	10825	01	10	01	03	03	03	01	英語コミュニケーション体験事業（教育指導費）
所属長	植田 聡	担当者（内線）橋本 道信（669-238）							
根拠法令等									
事業開始年度	平成25年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	本市小学校4年生		
目標	英語で外国の人と活動する中で、自然と英語に触れる機会を提供する。		
結果	英語でのコミュニケーションを図ろうとする意欲を向上させる。		
事業概要	英語でのコミュニケーションに対する意欲を向上させる機会の一つとして、小学校4年生を対象に英語だけの世界を楽しみながら英語に触れ、コミュニケーションをとる体験活動の「すいたえいごkids」を実施し、英語指導助手や英語を話せる活動支援者等を配置し、英語体験に参加した児童への支援を行う。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	交付先③		
	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	908	692	348	327	347
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.05	0.05	0.05
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	403	403	398
総事業費(A+B)	1,725	1,482	751	730	745
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,725	1,482	751	730	745
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,725	1,482	751	730	745
財源計(C+D)	1,725	1,482	751	730	745

所属	指導室
事務事業番号	00886

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「すいたえいごキッズ」参加人数	人	目標値	538.00	450.00	400.00
			実績値	481.00	400.00	
			達成度(%)	89.40	88.90	
目標値の積算方法	参加人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.08	1.83	
			一般財源(千円)	3.08	1.83	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		人	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「すいたえいごキッズ」当日アンケートで「英語を話せるようになりたいですか」等の質問で肯定的回答をした人数	人	目標値	481.00	400.00	400.00
			実績値	456.00	384.00	
			達成度(%)	94.80	96.00	
目標値の積算方法	アンケート回答数のうち、肯定的な感想を持った人数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.25	1.90	
			一般財源(千円)	3.25	1.90	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適正である。</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、現状で妥当である。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標指数の分析を踏まえると、目標とする成果はでており事業費も適正であるため、継続すべきであるが、外国語教科化により、方向性の見直しが必要な時期にきている。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	英語コミュニケーション体験事業	事業区分	その他
事務事業番号	00886				

1. 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	12	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00886
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>企業との協働により、平成25年度から毎年「すいたえいごkids」を実施できた。応募人数は募集人数を大きく上回り、本事業への児童、保護者の関心やニーズの高さを知ることとなった。また、実施後の参加者アンケートにおいても平成25年度から平成29年度まで、ほぼ100%の満足度を得る回答となっており、目標通り英語に楽しみながら触れる機会を提供することができた。</p> <p>外国語の教科化も踏まえ、一定の成果をもとに、方向転換を検討する必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>・平成27年度より教育課程特例校における報償費AET講師関係は「英語教育推進事業」に統合 ・平成9年度より学研外国語学部が主催する 英語教育実施計画 ・平成32年度(2020年)小学校高学年における外国語の教科化および中学年における外国語活動の実施</p>

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時20分26秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00887	障がい児介助員配置事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	15	教育内容の充実／障害に配慮した教育の充実		
予算事業	10826	01	10	01 03 04 01 01 障がい児介助員配置事業（教育指導費）
所属長	植田 聡	担当者（内線） 岡田 敦（669-239）		
根拠法令等	障害者の権利に関する条約第二十四条 教育 2（o）個人に必要とされる合理的配慮が提供されること			
事業開始年度	昭和56年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	重度・重複障がい児等の在籍する公立小・中学校		
目標	生活介助や安全確保にあたる。		
結果	一人ひとりの障がいの状況に応じたきめ細かな指導。		
事業概要	重度・重複障がい児やその他様々な課題がある子どもたちがより安心・安全に学校生活を送れるよう、在籍する学校に障がい児介助員を配置し、その生活介助や安全確保にあたる。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	246,165	241,517	245,138	240,754	227,429
人件費職員数(人)	2.50	2.50	2.50	2.50	2.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	20,425	19,750	20,130	20,130	19,863
総事業費(A+B)	266,590	261,267	265,268	260,884	247,292
特定財源(C)	934	675	693	511	502
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	934	675	693	511	502
市負担(D)	265,656	260,592	264,575	260,373	246,790
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	265,656	260,592	264,575	260,373	246,790
財源計(C+D)	266,590	261,267	265,268	260,884	247,292

所属	指導室
事務事業番号	00887

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	重度・重複障がい児やその他様々な課題のある子供のニーズに応え、教室移動・給食介助・運動補助・休み時間の支援などその生活介助や安全確保及び学習支援にあたる。	目標	児童、生徒の安心安全面の確保と学校生活の充実を保障する。
成果内容	障がいの多様化が進む中、それぞれの課題への対応が難しい場面が増えており、介助員を配置できた学校では、より安全に、きめ細かな支援をすることができた。	達成状況	重度・重複障がい児が在籍する支援学級など必要度の高い学校から可能な限り配置した。

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は増額を検討する必要がある。全ての学校の重度・多様化する教育的ニーズに対応できていない状況であるため。</p> <p>【指標数値の評価】 介助員を配置できた学校では、より安全に、きめ細かな支援をすることができたことを踏まえると、現状で打倒であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、事業費が低いことにより全ての学校での活動量を確保できていないため、増額を検討する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	障がい児介助員配置事業	事業区分	その他
事務事業番号	00887				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	6点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	6点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることが出来ますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	88	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00887
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>支援学級在籍児童・生徒の増加と、一人ひとりの教育的ニーズの多様化により、学校の実情に応じた介助員配置は十分ではない状況である。今後、各校の支援教育を充実させるためには、アルバイト介助員配置数を増やすなどの対応が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

中央審議会初等中等教育分科会(平成24年7月23日)
「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」【報告】
「合理的配慮」の充実を図るため、必要な財源を確保し、国、都道府県、市町村は、「基礎的環境整備」の充実を図っていくことが必要である。
平成28年4月1日「障がい者差別解消法」施行

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時20分50秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00888	支援学級支援事業			
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり			
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり			
細節	15	教育内容の充実／障害に配慮した教育の充実			
予算事業	10827	01	10	01 03 04 02 01	支援学級支援事業（教育指導費）
所属長	植田 聡	担当者（内線）岡田 敦（669-238）			
根拠法令等	障害者基本法（教育）第十六条（平成23年8月5日改正）学校施設の整備その他の環境の整備				
事業開始年度		直近の改正			
改正内容					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）				

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	公立小・中学校の支援学級在籍児童・生徒等		
目標	公立小・中学校の支援学級に在籍している児童・生徒が安心して学校生活を送る。		
結果	「ともに学び、ともに育つ」の理念に基づき、すべての人々が共に支え合って生きる社会を目指す。		
事業概要	<p>肢体不自由児・訓練の実施、階段昇降機の配置、就学指導等の支援学級在籍児童・生徒等の支援を図る。</p> <p>市内肢体不自由センター校である高野台小学校に在籍し、校区外から通学する児童について、車椅子対応のリフト付ワゴン車を運行する。</p> <p>また、障がいのある児童・生徒のよりよい就学のために、教育支援懇談会として有識者を招聘することで質の高い就学支援に努めている。</p>		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	12,300	10,768	10,636	9,971	14,710
人件費職員数(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	6,320	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	18,836	17,088	17,078	16,413	21,066
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	18,836	17,088	17,078	16,413	21,066
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	18,836	17,088	17,078	16,413	21,066
財源計(C+D)	18,836	17,088	17,078	16,413	21,066

所属	指導室
事務事業番号	00888

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	肢体不自由児訓練士活用回数	回	目標値	35.00	35.00	35.00
			実績値	35.00	35.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	年間活用回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	488.23	468.94	
			一般財源(千円)	488.23	468.94	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	リフト付ワゴン車3台の運行時間	時間	目標値	1,765.00	1,765.00	2,118.00
			実績値	1,509.00	1,667.00	
			達成度(%)	85.50	94.40	
目標値の積算方法	年間の授業日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	11.32	9.85	
			一般財源(千円)	11.32	9.85	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
吹田市立小・中学校の支援学級に在籍している児童・生徒が安心して学校生活を送ることができている。肢体不自由の児童・生徒の学習機会が保障される。	達成状況 必要に応じた支援を行っている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	
□ 拡充 ■ 継続 □ 縮小 □ 廃止 □ 終期の設定	
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

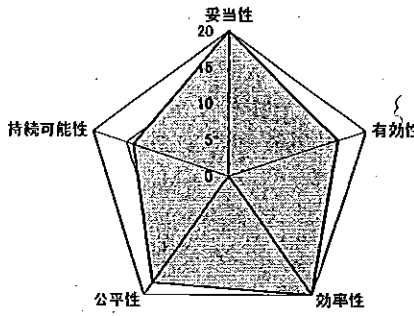
所属名	指導室	事業名	支援学級支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00888				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
持続可能性 (20点)	14	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
評価点合計 (100点満点)	88	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>肢体不自由で車いす等を使用している児童・生徒の学校生活や学習を保障するために階段昇降機を配置している。年度初めに、安全確保のために階段昇降機の点検を行うとともに、新たに必要となった学校については使用講習会を行っている。</p> <p>校外学習時には、児童・生徒の実情に応じてタクシーを配車することにより学校教育を支援している。</p> <p>また、障がいのある児童・生徒のよりよい就学のために、教育支援懇談会として有識者を招聘することで質の高い就学支援に努めている。</p> <p>肢体不自由センター校である高野台小学校においては、年1回の医師による診察や、教員等の資質向上を図るために理学療法士を派遣している。高野台小学校区外から通学する児童については、車椅子対応のリフト付きワゴン車の利用による通学を支援している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成26年度から「通学支援事業」を統合
 中央審議会初等中等教育分科会(平成24年7月23日)
 「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」【報告】
 「合理的配慮」の充実を図るため、必要な財源を確保し、国、都道府県、市町村は、「基礎的環境整備」の充実を図っていくことが必要である。
 平成28年4月1日「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」施行

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時21分23秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00889	市立小中学校医療的ケア体制整備推進事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	15	教育内容の充実／障害に配慮した教育の充実		
予算事業	10829	01	10	01 03 04 03 01
所属長	植田 聡	市立小中学校医療的ケア体制整備推進事業（教育指導費）		
根拠法令等	市町村医療的ケア体制整備推進事業補助金交付要綱			
事業開始年度	平成18年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 ● その他		
対象	公立小・中学校に在籍する医療的ケアの必要な児童・生徒		
目標	医療的ケアを必要とする児童・生徒が在籍する学校に看護師資格を有する介助員を配置し、安全な学校生活と学習活動を保障する。		
結果	医療的ケアを必要とする児童・生徒が地域の小中学校へ就学する際、保護者の来校による支援によらず、より安全な学校生活や学習活動を保障する。		
事業概要	医療的ケアを必要とする児童・生徒が在籍する学校に看護師資格を有する介助員を配置し、安全な学校生活と学習活動を保障する。		
実施方法	■ 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	30,981	24,536	26,726	23,695	28,736
人件費職員数(人)	0.80	0.80	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	6,536	6,320	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	37,517	30,856	33,168	30,137	35,092
特定財源(C)	9,130	8,132	8,300	13,367	13,244
国	0	0	0	7,840	9,509
府	9,130	8,124	8,300	5,521	3,735
その他	0	8	0	6	0
市負担(D)	28,387	22,724	24,868	16,770	21,848
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	28,387	22,724	24,868	16,770	21,848
財源計(C+D)	37,517	30,856	33,168	30,137	35,092

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	看護師資格を有する介助員配置のべ人数(府補助対象分)	人	目標値	26.00	26.00	20.00
			実績値	26.00	26.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	医療的ケアを必要とする児童・生徒数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	1,186.77	1,159.12	
			一般財源(千円)	874.00	645.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
医療的ケアを必要とする児童・生徒が地域の小中学校へ就学する機会を拡充し、保護者の来校による支援にたよらず、安全な学校生活や学習活動が保障される。	達成状況 概ね達成できているが、必要な時期に必要な数の看護師資格を持つ介助員の雇用が難しい。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 医療的ケアを必要とする児童・生徒が地域の小中学校へ就学する機会を拡充し、保護者の来校による支援にたよらず、安全な学校生活や学習活動を保障できたことを踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果ができており事業費も適正であるため継続すべきである。併せて看護師資格を持つ介助員の雇用を引き続き継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	市立小中学校医療的ケア体制整備推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00889				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	92	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00889
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>医療的ケアを必要とする児童・生徒が地域の小・中学校へ就学する機会を拡大し、保護者が対応せずとも、安全な学校生活や学習活動を保障するため、対象児童・生徒が在籍する学校に看護師資格を有する介助員を配置している。 昨年度より、大阪府からの補助金だけでなく、国からの補助金も執行されることとなった。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成28年4月1日 「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」施行

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時21分56秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00890	通訳者派遣事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	16	教育内容の充実/国際化・情報化社会に対応した教育の展開		
予算事業	10833	01	10	01 03 05 01 01 通訳者派遣事業（教育指導費）
所属長	植田 聡	担当者（内線）岡田 敦（669-239）		
根拠法令等	中国帰国子女等指導協力者（通訳者）派遣事業実施要項			
事業開始年度		直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	帰国・外国人園児、児童及び生徒		
目標	帰国・外国人園児、児童及び生徒の学校・園における生活支援を行うと共に、日本語運用能力を高める指導を行う。		
結果	帰国・外国人園児・児童・生徒の学校生活への円滑な適応を促進する。また当該保護者のニーズに対応し、学校等を支援していくことにより保護者との共通理解を図ることができ、学校教育への充実に繋がっている。		
事業概要	帰国・外国人園児、児童及び生徒が学校・園における生活に適応できるように支援を行うとともに、日本語適応能力を高めるため、日本語指導者（通訳者）を派遣する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,545	1,168	1,297	1,404	1,277
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	2,362	1,958	2,103	2,210	2,072
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,362	1,958	2,103	2,210	2,072
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,362	1,958	2,103	2,210	2,072
財源計(C+D)	2,362	1,958	2,103	2,210	2,072

所属	指導室
事務事業番号	00890

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	帰国・外国人園児、児童及び生徒が学校・園における生活に適應できるように支援を行うとともに、日本語適應能力を高めるため、日本語指導者(通訳者)を派遣する。	目標	帰国・外国人園児、児童及び生徒の学校・園における生活支援を行うと共に、日本語運用能力を高める指導を行う。
成果内容	学校生活に必要な生活言語・学習言語を習得する。当該保護者のニーズに対応し、保護者との意思疎通を図ることができ、学校教育の充実につながっている。	達成状況	生活言語・学習言語を習得するには一定の期間が必要であり、さらに充実が必要である。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は増額を検討する必要がある。理由は、帰国・外国人園児・児童・生徒の増加のため。</p> <p>【指標数値の評価】 現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、事業費が低いことにより活動量を確保できていないため、必要に応じて予算を確保する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	通訳者派遣事業	事業区分	その他
事務事業番号	00890				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	14	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		c. 事業費、市負担とも増大し、それに見合う財源の確保も見込めない。(1点)	1点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	90	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00890
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>帰国・外国人園児、児童及び生徒に対して、帰国子女等指導協力者(通訳者)を派遣することは、当該園児・児童・生徒の日本語適応能力を高めるだけでなく、スムーズに園・学校生活に適応できる支援となっている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時22分27秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00891	日本語適応教室事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	16	教育内容の充実／国際化・情報化社会に対応した教育の展開		
予算事業	10837	01	10	01 03 05 02 01
所属長	植田 聡	日本語適応教室事業（教育指導費）		
根拠法令等	中国残留孤児などの円滑な帰国の促進及び永住帰国後の自立支援に関する法律「第11条」			
事業開始年度	平成16年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	帰国・外国人園児、児童及び生徒		
目標	竹見台中学校に開設している日本語適応教室「さくら広場」に日本語指導の支援者を配置して、日本語理解の十分な園児・児童・生徒の支援を行う。		
結果	新たな環境に置かれた、日本語がほとんど理解できない園児・児童・生徒が学校になじむための対応と日本語能力の定着及び母語保持。		
事業概要	帰国・外国人園児、児童及び生徒に対して日本語適応教室を設置し、日本語指導、学校生活への対応指導等の充実に努め、学校教育への円滑な適応を促進するとともに、学習言語を習得するための支援を行う。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	482	417	483	392	453
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	2,116	1,997	2,094	2,003	2,042
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,116	1,997	2,094	2,003	2,042
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,116	1,997	2,094	2,003	2,042
財源計(C+D)	2,116	1,997	2,094	2,003	2,042

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	日本語適応教室の開設	回	目標値	35.00	35.00	35.00
			実績値	35.00	35.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	1週間あたり1回の開設(年間35週)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	57.06	57.23	
			一般財源(千円)	57.06	57.23	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	平均利用率	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	65.00	87.00	
			達成度(%)	65.00	87.00	
目標値の積算方法	1回あたりの平均利用者/登録者	単位当たりコスト	総事業費(千円)	30.72	23.02	
			一般財源(千円)	30.72	23.02	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	日本語適応教室事業	事業区分	その他
事務事業番号	00891				

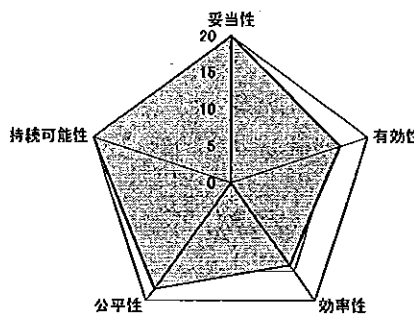
1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	88	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00891
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>掃国・外国人園児、児童及び生徒に対して、年35回日本語指導適応教室「さくら広場」を設置し、母語保持につながる活動や日本語指導を行っている。平成29年度は、登録している10名の平均87%の参加があった。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時23分01秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00892	学校問題解決支援事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	22	教育環境の充実／教職員研修・教育相談の充実							
予算事業	10839	01	10	01	03	05	03	01	学校問題解決支援事業（教育指導費）
所属長	植田 聡		担当者（内線）前田 社賢（669-235）						
根拠法令等	吹田市教育委員会事務局非常勤職員採用試験実施要領								
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし						
改正内容	なし								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	公立小中学校の学校関係者、保護者及び地域住民等		
目標	学校と児童・生徒、保護者あるいは地域住民等の間で生じた困難な問題の早期解決を支援する。		
結果	苦情等の対応及び困難な問題の早期解決を図ることにより、児童・生徒の学校活動が確保され、また、保護者の学校に対する声に対応することで、保護者や地域から信頼される学校の構築に資することができる。		
事業概要	学校教育活動中の問題行動や事故等により、学校と家庭間等で生じた困難な問題において、学識経験者による早期解決に向けた対応の指導・助言を行う。また、保護者、地域からの相談・苦情対応の初期対応も行い、学校と保護者・地域住民等との円滑な関係づくりを支援する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,853	3,535	3,565	3,489	3,846
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	4,670	4,325	4,371	4,295	4,641
特定財源(C)	16	12	12	9	10
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	16	12	12	9	10
市負担(D)	4,654	4,313	4,359	4,286	4,631
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,654	4,313	4,359	4,286	4,631
財源計(C+D)	4,670	4,325	4,371	4,295	4,641

所属	指導室
事務事業番号	00892

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	訪問学校数	校	目標値	54.00	54.00	54.00
			実績値	54.00	54.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	全小・中学校	単位当たりコスト	総事業費(千円)	80.09	79.54	
			一般財源(千円)	79.87	79.37	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 苦情等の対応及び調整困難な問題の解決を図ることにより、児童・生徒にとって安心安全な学校活動が確保され、保護者等の学校に対する声に対応することで、信頼された学校づくりを推進できる。	達成状況 当事者同士の話し合い等では解決が困難な事案が生じた際に、適切な助言・支援がなされ、解決が至難と思われた事案が解消した。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。ここ数年で学校問題解決支援員が指導・助言するケースが増加しているため。</p> <p>【指標数値の評価】 数値指数の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 子供たちに魅力ある教育活動を保障するために、学識経験者等が指導・助言を行い、早期解決・收拾を図ることが必要である。現時、学校問題解決支援員が、苦情等の対応及び調整困難な問題の早期解決を図ることにより、児童・生徒の学校生活の充実が図られてるところだが、多様な価値観が混在する中、学校と家庭間で生じる困難な問題も後を絶たず、ニーズも多様化している。以上のことから、今後も本事業を継続させる必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	学校問題解決支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00892				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00892
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>子供たちに魅力ある教育活動を保障するために、学識経験者等が指導・助言を行い、早期解決・収拾を図ることが必要である。現在児童・生徒の学校生活の充実が図られているところだが、学校と家庭間等で生じる困難な問題も後を絶たず、ニーズも多様化している。このような調整困難な問題の解決を図ることにより、児童・生徒にとって安心安全な学校活動が確保され、保護者等の学校に対する声に対応することで、信頼された学校をつくりを推進している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時23分30秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00893	子どもサポートチーム事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開				
予算事業	10840	01	10	01	03 05 04 01	子どもサポートチーム事業（教育指導費）
所属長	植田 聡	担当者（内線）植田 陽介（669-239）				
根拠法令等	なし					
事業開始年度	平成20年度	直近の改正	なし			
改正内容	なし					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他				
対象	公立小中学校の児童・生徒と保護者および学校関係者				
目標	いじめ・不登校、児童虐待の個別課題を有する児童・生徒への個別支援を行い、困難な事例等の未然防止・早期解決を図るために、各校の生徒指導体制を構築するとともに、校内研修等を行い、より生徒指導の充実を図る。				
結果	スクールソーシャルワーカーを含む子どもサポートチームが、組織的な対応により、第三者的立場で児童・生徒に接することや学校関係者との見立て、保護者等との面談を実施し、いじめ等の未然防止・早期解決に繋げる。				
事業概要	各学校において子ども支援のために、学校の教員だけではなく、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカーや心理の専門家であるスクールカウンセラーを含むサポートチームを編成し、いじめ・不登校・児童虐待等、個別課題を有する児童・生徒へのケア及び未然防止に努め、それぞれの専門的な見地からのアドバイスを受けながら、各学校の支援体制の実効性・機能性を分析し、校内研修等の充実により、児童・生徒、保護者、学校等を支援する。				
実施方法	■ 直接実施				
	□ 委託又は一部委託	委託先①			
		委託先②			
		委託先③			
	□ 補助金・負担金	主な委託内容			
交付先①					
交付先②					
□ その他	内容				

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	30,479	30,160	30,458	30,492	31,155
人件費職員数(人)	1.50	1.50	1.30	1.30	1.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	12,255	11,850	10,468	10,468	10,329
総事業費(A+B)	42,734	42,010	40,926	40,960	41,484
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	42,734	42,010	40,926	40,960	41,484
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	42,734	42,010	40,926	40,960	41,484
財源計(C+D)	42,734	42,010	40,926	40,960	41,484

所属	指導室
事務事業番号	00893

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	各中学校ブロックにスクールソーシャルワーカーを配置した時間数	時間	目標値	8,268.00	8,268.00	8,268.00
			実績値	8,235.50	8,359.00	
			達成度(%)	99.60	101.10	
目標値の積算方法	スクールソーシャルワーカーの人数×時間	単位当たりコスト	総事業費(千円)	5.10	4.90	
			一般財源(千円)	5.10	4.90	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	スクールソーシャルワーカーサポーターの配置日数	日	目標値	210.00	210.00	210.00
			実績値	163.00	125.00	
			達成度(%)	77.60	59.50	
目標値の積算方法	スクールソーシャルワーカーサポーターの人数×配置日数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	257.73	327.68	
			一般財源(千円)	257.73	327.68	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	いじめ事案の解消率	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	96.93	89.81	
			達成度(%)	96.90	89.80	
目標値の積算方法	対応により解決に至った事案(平成29年度よりいじめ解消の定義が3か月の見守り後となったため、解消率が下がっている)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	433.41	456.07	
			一般財源(千円)	433.41	456.07	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は増額を検討する必要がある。スクールソーシャルワーカーの仕事はケース会議への参加、家庭訪問、関係機関との連携等多岐に渡り、現状の勤務時間では対応が困難な状況であるため。</p> <p>【指標数値の評価】いじめ解決までの見守り期間が設定されたことを考慮すると、事業成果は現状でおおむね妥当であるが、改善の余地がある。</p> <p>【今後の方向性】いじめ・不登校、虐待の個別課題を有する児童・生徒は増える一方であり、学校だけでは対応が困難な事例が多くなっている。そのような中で、子どもサポートチームのスクールソーシャルワーカーが、福祉的な視点で児童・生徒に接し、また学校関係者と見立てを行う必要がある。本市においては、平成28年度から、より多くの児童生徒に関わり、必要な支援につなげるためにスクールソーシャルワーカーサポーターを配置しているが、全ての課題に対応できるとは言えない。以上のことから、諸問題の未然防止や早期解決等を図るためにも本事業の拡充が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	子どもサポートチーム事業	事業区分	その他
事務事業番号	00893				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	10	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		b. 事業費は増大するが、市負担は増大しない見込みである。(3点)	3点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	86	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>全中学校区に配置しているスクールソーシャルワーカーが、困難な事例等の未然防止・早期解決を図るために、校内の生徒指導会議等に参加し、支援方法の検討している。また、第三者的立場で児童・生徒に接したり、保護者等との面談、支援を行うことで、虐待の未然防止や早期解決等に繋げたり、子どもの生活基盤である家庭環境の改善を図るなど、福祉的視点で関係機関との連携を行っている。昨今、学校や家庭からのニーズも増加しており、きめ細かな対応、支援には物理的に難しい現状があるため、平成28年度よりスクールソーシャルワーカーサポーターを活用し、一部の学校ではよりきめ細かな対応、支援も行っているが、スクールソーシャルワーカーの配置時間については拡充する必要がある。平成30年度より、法的な視点からのサポートとしてスクールロイヤーの活用を予定している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

第42回教育再生実行会議の報告(平成30年5月31日)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時24分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00894	部活動活性化支援事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開				
予算事業	10841	01	10	01	03 05 05 01	部活動活性化支援事業（教育指導費）
所属長	植田 聡		担当者（内線）前田 壮賢（669-235）			
根拠法令等						
事業開始年度	平成7年度	直近の改正	平成23年度			
改正内容	平成7年度から実施していた「中学校部活動指導者派遣事業」と「中学校運動部活動活性化事業」を事業統合した。					
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他				
対象	公立中学校18校				
目標	中学校における体育・スポーツ・文化振興のため、種目別拠点校・合同部活動のシステムを実施するとともに、専門的な技術指導力を備えた部活動指導者・大会審判員を派遣する。				
結果	派遣校の生徒が適切な指導を受け、部活動の充実・発展が図られるとともに、審判員の派遣により公正な競技会が行われる。				
事業概要	全中学校を対象に、専門的な技術指導力を備えた適切な指導者を必要とする運動部・文化部を有する学校に対して、年間55回、1回2時間程度の部活動指導者を派遣する。また、公正な競技会を実施するため、専門的な知識を持った審判員を派遣する。				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①			
		委託先②			
		委託先③			
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容			
交付先①					
交付先②					
<input type="checkbox"/> その他	内容				

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,720	6,374	6,693	6,577	7,882
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.30
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	2,384
総事業費(A+B)	8,354	7,954	8,304	8,188	10,266
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,354	7,954	8,304	8,188	10,266
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,354	7,954	8,304	8,188	10,266
財源計(C+D)	8,354	7,954	8,304	8,188	10,266

所属	指導室
事務事業番号	00894

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	部活動指導者等・大会審判員派遣回数	回	目標値	2,200.00	2,200.00	2,200.00
			実績値	2,086.00	2,115.00	
			達成度(%)	94.80	96.10	
目標値の積算方法	部活動指導者等及び大会審判員派遣回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	3.81	3.87	
			一般財源(千円)	3.81	3.87	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	入部率	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	85.10	85.09	
			達成度(%)	85.10	85.10	
目標値の積算方法	全生徒の入部	単位当たりコスト	総事業費(千円)	93.47	96.23	
			一般財源(千円)	93.47	96.23	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は増額を検討する必要がある。学校からの部活動指導者の派遣依頼が増加しているため。</p> <p>【指標数値の評価】 指数数値の推移を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。</p> <p>【今後の方向性】 本市においては、中学校部活動入部率が昨年度は85.09%となっており、本事業も含め部活動の充実、活性化する取組を積極的に推進している。部活動により体得した経験等は、本市の子どもの将来にわたっての貴重な財産となっている。本事業は、今後も部活動を活性化し、充実・推進を図るのに必要な事業である。部活動指導者等・大会審判員派遣回数希望が年々増加していることから、今後、派遣回数の増加を検討する必要がある。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	部活動活性化支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00894				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	92	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00894
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果			
(3) 現状分析	<p>生徒・保護者のニーズにこたえ、本事業も含め部活動の充実、活性化する取組を積極的に推進することにより、中学校部活動参加率が85.09%となっている。部活動により体得した経験等は、子供にとって貴重な財産となっている、今後も専門的な技術指導ができる指導者を派遣し、部活動を活性化するために必要な事業である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時24分30秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00895	放課後学習支援事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開		
予算事業	10842	01	10	01 03 05 06 01
所属長	植田 聡	放課後学習支援事業（教育指導費） 担当者（内線）坂本 健一（669-237）		
根拠法令等				
事業開始年度	平成24年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	公立小・中学校の児童・生徒		
目標	児童・生徒へ学習機会を提供すること		
結果	児童・生徒の学力向上		
事業概要	大学生や教職OB等を学習支援者として放課後学習に配置することで、学校の学習支援体制を充実させ、児童・生徒の自学自習力と学習意欲の向上を図る。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	276	257	288	231	277
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,093	1,047	1,094	1,037	1,072
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,093	1,047	1,094	1,037	1,072
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,093	1,047	1,094	1,037	1,072
財源計(C+D)	1,093	1,047	1,094	1,037	1,072

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	学習支援登録者による放課後学習実施校数	校	目標値	54.00	54.00	54.00
			実績値	12.00	11.00	
			達成度(%)	22.20	20.40	
目標値の積算方法	小・中学校数(54校)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	87.25	94.27	
			一般財源(千円)	87.25	94.27	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	学習支援登録者による放課後学習実施回数	回	目標値	420.00	420.00	385.00
			実績値	481.00	448.00	
			達成度(%)	114.50	106.70	
目標値の積算方法	昨年度実績校数×年間35週×週1回	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.18	2.31	
			一般財源(千円)	2.18	2.31	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	全ての小学校で「自分で計画を立てて勉強する」項目の肯定的回答率が全国値を上回る。	%	目標値	62.20	62.50	64.50
			実績値	55.80	61.40	
			達成度(%)	89.70	98.20	
目標値の積算方法	全国学力・学習状況調査の児童質問紙における「自分で計画を立てて勉強する」項目の肯定的回答率。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	18.76	16.89	
			一般財源(千円)	18.76	16.89	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	全ての中学校で「自分で計画を立てて勉強する」項目の肯定的回答率が全国値を上回る	%	目標値	48.40	48.60	51.50
			実績値	54.60	50.10	
			達成度(%)	112.80	103.10	
目標値の積算方法	全国学力・学習状況調査の生徒質問紙における「自分で計画を立てて勉強する」項目の肯定的回答率。	単位当たりコスト	総事業費(千円)	19.18	20.70	
			一般財源(千円)	19.18	20.70	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	平成30年度目標値は、平成29年度全国学力・学習状況調査結果の全国数値を入れている。
	達成状況

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】事業費は、縮小を検討する必要がある。講師謝礼金が交通費込みで500円と安価なため登録者が少なく、一校当たり1名～2名程度しか支援者を活用できていない。学校にとって 計画書・報告書の作成、勤務表の提出、支援者登録・マイナンバー登録等手続きが煩雑であるため、謝礼金の発生しない校内の教諭で放課後学習をとりくもうという動きになりつつある。</p> <p>【指標数値の評価】事業成果はおおむね妥当であるが、改善の余地はある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】児童・生徒は、分からないところを丁寧に教えてもらうことで、少しずつ理解できる部分が増えているが、近隣市町の同事業の謝礼金額と比較して少ないこと、登録者がなかなか増やせないことを考えると事業の縮小を視野に入れていかなければならないと考える。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	放課後学習支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00895				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
c. 現在の事業のあり方では、期待する事業効果は得られない。(1点)	1点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度は、対象校(小学校10校、中学校1校)に学習支援者を概ね2名配置し、週に1～2回の放課後学習を実施することができた。また、学校独自の取組も含めて児童生徒の学習意欲や自学自習力の向上に寄与している。</p> <p>しかし、学習支援者の確保が難しく、学習支援者がいても学校の希望曜日と合わず、放課後学習実施日に配置できないこともあり、縮小の方向で見直す必要がある。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時25分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00896	小学校配慮を要する児童に係る空調設備整備事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業				
所属長	植田 聡	担当者（内線）岡田 敦（669-239）		
根拠法令等	学校教育法75条（昭和23年3月31日法律第26号）			
事業開始年度	平成13年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	公立小学校の支援学級、通級指導教室に在籍する児童		
目標	体温調節の困難な病虚弱児童や静かな環境で言葉の機能訓練等の必要な児童の学習や活動が効果的に行われる。		
結果	児童一人ひとりの状況や発達に応じた適切な教育を行い、すべての児童がともに学び、ともに育つ教育を推進することができる。		
事業概要	新たにエアコン設置が必要となった支援学級、通級指導教室において、体温調節の困難な病虚弱児童や静かな環境で言葉の機能訓練等の必要な児童の学習や活動が効果的に行われるように、エアコンを設置する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	26,707
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
人件費単価	8,170	8,170	8,052	8,052	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	26,707
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	26,707
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	26,707
財源計(C+D)	0	0	0	0	26,707

所属	指導室
事務事業番号	00896

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	支援学級、通級指導教室へのエアコン設置校数		目標値	0.00	0.00	3.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	新たにエアコン設置が必要となった支援学級、通級指導教室	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 体温調節の困難な病虚弱児童や、計画的な機能訓練が必要な児童の学習や活動を、適切な環境のもと効果的に行われる。	達成状況 平成27年度中に、すべての支援学級に空調設備が完了。平成28年度以降は引き続き実情に応じて環境整備を実施。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】</p> <p>【進捗状況の評価】</p> <p>【今後の方向性】 今後も障がいの重度化・多様化、在籍数の増加通教教室の増学級等が予想されるため、引き続き実情に応じた環境整備が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	小学校配慮を要する児童に係る空調設備整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00896				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00896
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>体温調節のできない病弱・虚弱であったり、静かな環境で言葉や情緒安定等の機能訓練等、個別の学習課題や活動を行うため、支援学級の1教室ずつに設置を進めてきた。平成27年度に全教室に設置が完了しているが、障がいの重度化・多様化、在籍数の増加による教室の増加が今後も予想される。 効果的で充実した学習活動等を行うためにも、引き続き実情に応じた環境整備が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時25分30秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00897	小学校学校案内作成事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開							
予算事業	10864	01	10	02	01	05	01	01	小学校学校案内作成事業（小学校管理運営費）
所属長	植田 聡			担当者（内線）坂下 剛（669-237）					
根拠法令等	「わくわくスタート」事業実施要領								
事業開始年度	平成15年度	直近の改正							
改正内容									
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他			
対象	公立小学校入学者			
目標	公立小学校に入学する園児や保護者に対し、学校ごとに作成した学校案内を配付する。			
結果	園児や保護者が、新しい生活への安心感や期待感を持ち、小学校生活の円滑なスタートが図れる。			
事業概要	小学校入学当初から学校生活や学習活動を円滑に開始することができるようにするため、就学前児童の保護者を対象に、各学校ごとの特色を盛り込んだ学校案内を作成・配付し、ガイダンスを行う。			
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
			主な委託内容	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
交付先②				
交付先③				
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	612	583	612	594	602
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,429	1,373	1,418	1,400	1,397
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,429	1,373	1,418	1,400	1,397
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,429	1,373	1,418	1,400	1,397
財源計(C+D)	1,429	1,373	1,418	1,400	1,397

所属	指導室
事務事業番号	00897

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	案内作成校数	校	目標値	36.00	36.00	36.00
			実績値	36.00	36.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	全小学校	単位当たりコスト	総事業費(千円)	38.14	38.89	
			一般財源(千円)	38.14	38.89	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容	小学校生活のスムーズなスタートが図られている。
	達成状況 達成できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値を踏まえると、事業成果は現状で妥当である。</p> <p>【今後の方向性】 小学校入学当初から、学校生活や学習活動をスムーズに行うために学校ごとに作成した学校案内を活用し、保護者への配付やガイダンスを行うことで、就学前児童や保護者が、新しい生活への安心感や期待感を持つことができ、新しい環境への円滑なスタートに繋がっていることから、継続が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	小学校学校案内作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00897				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		b. 単位当たりコストは概ね適正であるが、改善の余地がある。(3点)	3点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00897
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>就学前児童やその保護者が、新しい生活への安心感や期待感を持つことができるように、学校ごとに作成した入学予定校の学校案内を保護者に配付している。 各学校では、これを入学説明会等のガイダンスに活用しており、小学校入学当初から、新しい環境での円滑なスタートに繋げることに寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時27分19秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00898	中学校副読本作成事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	13	教育内容の充実/心豊かな児童・生徒の育成		
予算事業				
所属長	植田 聡	担当者（内線）坂本 健一（669-237）		
根拠法令等				
事業開始年度	平成10年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	公立中学校1年生		
目標	中学校1年生に「道徳の時間」等の教材として、道徳教育副読本を配付し、道徳教育の充実を図る。		
結果	道徳副読本を活用し、道徳的な心情、判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養うことができる。		
事業概要	学習指導要領に示される指導内容項目を計画的発展的に取り扱い、また吹田の子どもの実態に即した題材、内容等を整理した道徳教育副読本を配付し、「道徳の時間」及び道徳性を培う教育活動において活用する。 道徳的価値の補充・深化・統合し、道徳的価値及びそれに基づいた人間としての生き方について自覚を深め道徳的実践力を育成することに寄与する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	0
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費単価	8,170	8,170	8,052	8,052	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	0
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0
財源計(C+D)	0	0	0	0	0

所属	指導室
事務事業番号	00898

2頁
平成30年 6月13日
19時27分19秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	副読本を活用することにより道徳の時間の授業の質を一定の水準に高め、学習が円滑に進んでいる。	目標	全ての対象生徒が活用する。
成果内容	副読本を活用することにより、道徳性を育てる効果を発揮している。	達成状況	生徒が活用しやすく学びが深まる学習活動ができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】</p> <p>【指標数値の評価】</p> <p>【今後の方向性】 平成31年度から道徳の教科化により教科書が採択され、採択教科書を用いた授業へと移行されるため、本事業の終期を平成31年度末に設定する。</p>

事務事業分析シート

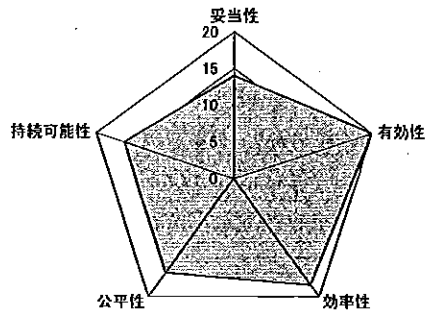
所属名	指導室	事業名	中学校副読本作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00898				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	84	一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>新学習指導要領の内容に基づき、平成31年度から道徳の教科化により教科書が採択され、採択教科書を用いた授業へと移行されるため、本事業の終期を平成31年度末に設定する。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時28分03秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00899	中学校学校案内・生徒手帳作成事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開		
予算事業	10892	01	10	03
		01	04	01
		01		
所属長	植田 聡	中学校学校案内・生徒手帳作成事業（中学校管理運営費）		
根拠法令等		担当者（内線）前田 壮賢（669-235）		
事業開始年度	不明	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	公立中学校の生徒		
目標	生徒一人ひとりに、学校生活のあり方等を平素から自覚させる。		
結果	平素から、生徒に学校生活のあり方等を理解させるとともに、学校と家庭との連絡・連携を図ることができる。		
事業概要	生徒一人ひとりに学校の教育方針を知らしめ、中学校生活のあり方や心得を平素から自覚させるとともに、当該中学生であることを証明し、諸届け等家庭と学校との連絡に利用するため、生徒手帳を作成する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	2,060	955	2,234	2,158	2,425
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	2,877	1,745	3,040	2,964	3,220
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,877	1,745	3,040	2,964	3,220
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,877	1,745	3,040	2,964	3,220
財源計(C+D)	2,877	1,745	3,040	2,964	3,220

所属	指導室
事務事業番号	00899

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	生徒手帳（生徒証）配付学校数	校	目標値	18.00	18.00	18.00
			実績値	18.00	18.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	全中学校	単位当たりコスト	総事業費(千円)	96.94	164.67	
			一般財源(千円)	96.94	164.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	生徒手帳（生徒証）配付率	%	目標値	100.00	100.00	100.00
			実績値	100.00	100.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	配布数/生徒数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	17.45	29.64	
			一般財源(千円)	17.45	29.64	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性 (一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。各中学校で生徒手帳の活用ができているため。</p> <p>【指標数値の評価】 指数数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 各学校が示す「中学生はどうあるべきか」「目指す人間像」は、本市の子どもに求める姿勢でもある。子どもの規律ある生活習慣を身につけさせることは大切であり、生徒手帳を配付し本市立の中学生であることを証明するとともに、中学生の生活習慣や授業規律の心得を普段から自覚を持たせることに活用している。なお、平成28年度は生徒証のみの配付を行った。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	中学校学校案内・生徒手帳作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00899				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	14	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
		①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		b. 滞納等に対して、適正な措置を講じているが、取組率には課題がある。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	80	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。			
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2. 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>子供の規律ある生活習慣を身につけさせることは大切であり、生徒手帳を配付することで本市立の中学生であることを証明するとともに、中学生の生活習慣や授業規律の心得を普段から自覚を持たせることや諸届等学校と家庭の連携に活用している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時28分35秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00900	教育活動支援事業
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開
予算事業	11321	01 10 01 03 05 07 01 教育活動支援事業（教育指導費）
所属長	植田 聡	担当者（内線） 檀野 良美（669-233）
根拠法令等		
事業開始年度	平成17年度	直近の改正
改正内容		
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）	

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他	
対象	全公立小・中学校の児童・生徒	
目標	市内の公立小・中学校において、外国人講師等の外部人材を活用することにより、国際理解教育を充実させる	
結果	国際理解教育を推進し、児童・生徒に国際感覚を育むことができる。	
事業概要	<p>共催行事である連合音楽会や教育美術展の実施に伴う経費の助成、校外学習で引率教職員等が施設に入場する際の入館料の助成。児童・生徒が国際理解を深め、国際協調の精神を育むために、外国人講師を招聘し、国際理解の充実を図る。また、聴覚障がいをもつ保護者に対して学校での懇談会や教育相談等に手話通訳者を派遣する等、学校教育活動を支援する。</p>	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
	主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
<input type="checkbox"/> その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,080	3,545	3,447	2,565	4,131
人件費職員数(人)	1.00	1.00	0.80	0.80	0.80
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	8,170	7,900	6,442	6,442	6,356
総事業費(A+B)	12,250	11,445	9,889	9,007	10,487
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	12,250	11,445	9,889	9,007	10,487
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	12,250	11,445	9,889	9,007	10,487
財源計(C+D)	12,250	11,445	9,889	9,007	10,487

所属	指導室
事務事業番号	00900

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	校外学習等入場入館料請求校数	校	目標値	54.00	54.00	54.00
			実績値	50.00	48.00	
			達成度(%)	92.60	88.90	
目標値の積算方法	全小中学校	単位当たりコスト	総事業費(千円)	228.90	187.65	
			一般財源(千円)	228.90	187.65	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	学校支援指導者謝礼支払回数	回	目標値	76.00	76.00	76.00
			実績値	58.00	50.00	
			達成度(%)	76.30	65.80	
目標値の積算方法	予算要求回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	197.33	180.14	
			一般財源(千円)	197.33	180.14	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
音楽会や美術展を通し児童・生徒に芸術感覚を育むことができている。様々な施設を利用する機会が増えることで体験活動を保障できている。また児童・生徒に国際感覚を育むことができている。	達成状況 それぞれの学校のニーズに応じた対応ができた。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】教育研究団体との共催行事や小中学校で実施する学校行事等への支援などの費用を計上したもので、前年実績に基づき予算要求しており事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】例年達成状況はそれぞれ90%前後、70%前後あり、有効に事業の活用がなされており、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】音楽や美術に学校外で触れる機会を設けることで、児童・生徒の芸術感覚をさらに育むことができている。校外学習等で様々な施設に入館し体験する機会が保障されることによって、児童・生徒の体験学習によって育まれる力が確実に伸びてきている。自国文化及び異国文化を理解するなど、グローバル化が進展する社会の中で広い視野をもつ子どもの育成が、今後ますます求められる。児童や生徒が相手の意見に耳を傾けるとともに、自分の考えや意志を表現し、積極的にコミュニケーションを図る基礎的な能力・態度は育っている。以上のことから考慮して、目標とする効果が出ており事業費も適正なため、今後も事業の継続が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	教育活動支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	00900				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		b. 市が関与すべき事業であるが、その範囲や担い手には民間委託など検討の余地がある。(3点)	3点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	12	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	80	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00900
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各種教育研究団体との共催行事への助成等を行うことは、より円滑な教育活動の推進に繋がる。また、校外学習時に、引率教職員が施設等に入館する際の経費を市が負担することにより、児童・生徒の安全面の確保や活動の充実が図られている。</p> <p>小・中学校の「総合的な学習の時間」等の国際理解教育において、児童・生徒が自ら課題をみつけ解決する学習として、外国人講師等による講演、交流等を実施し、国際感覚を育てている。また、多文化理解、人権意識など多様性教育や学校のニーズに応じた外部人材を派遣し、国際理解教育の充実に努めた。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関係する特記事項)

平成26年度から「教育研究団体支援事業」、「入場入館料補助事業」、「国際理解教育プログラム推進事業」を統合し、「教育活動支援事業」に再編した。

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時29分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00901	米沢富美子子ども科学賞（吹田市子ども科学作品展）事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開		
予算事業	11322	01	10	01 03 03 04 01
所属長	植田 聡	米沢富美子子ども科学賞（吹田市子ども科学作品展）事業（教育指 担当者（内線）坂本 健一（669-238）		
根拠法令等				
事業開始年度	平成22年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	小・中学校の児童・生徒		
目標	科学や自然、環境への興味・関心と知的好奇心・探求心に応じた科学技術に出会う機会の充実を図り、理科・数学が好きな児童・生徒の育成と、市制70周年を機にはじめることで、学習意欲の向上や能力の伸長を目指す。		
結果	児童・生徒の科学や自然、環境への興味・関心を引き出し、学習意欲の向上や児童・生徒の個性や能力のさらなる伸長を図ることができる。		
事業概要	応募対象は吹田市内小・中学校の児童・生徒で、科学（理科）に関する実験や観察、調査など自主研究の作品を公募し、公募作品の中から好奇心あふれる作品6点を選び、表彰する。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
□ 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	329	344	352	360	349
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,146	1,134	1,158	1,166	1,144
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,146	1,134	1,158	1,166	1,144
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,146	1,134	1,158	1,166	1,144
財源計(C+D)	1,146	1,134	1,158	1,166	1,144

所属	指導室
事務事業番号	00901

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	作品応募校数	校	目標値	54.00	54.00	54.00
			実績値	54.00	54.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	全小・中学校数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	21.00	21.59	
			一般財源(千円)	21.00	21.59	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	応募数		目標値	540.00	540.00	540.00
			実績値	412.00	319.00	
			達成度(%)	76.30	59.10	
目標値の積算方法	募集小学校数(36)×各学年2作品(12) + 募集中学校数(18)×各学年2作品(6)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.75	3.66	
			一般財源(千円)	2.75	3.66	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。謝礼金が最低限の費用に抑えられており、運搬費、通訳派遣費用等も大幅な変更はなく実施できる見込みであるため。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえると事業成果はおおむね妥当だが、改善の余地がある。今後は中学校の応募数拡充に努める必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 「米沢富美子こども科学賞」は、吹田市出身の世界的な物理学者に接することができ、科学や自然、環境への関心と知的好奇心・探究心に促された科学技術に出会う機会となっており、理科に対する学習意欲の喚起に繋がっている。中学生の応募数を増やし小学校で定着している科学作品への意欲関心を継続できるようにする。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	米沢富美子子ども科学賞(吹田市子ども科学作品展)事	事業区分	その他
事務事業番号	00901				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	14	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(6点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00901
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>理数教育の充実が求められる中、児童生徒の科学事象への意欲関心を高めることは充実に向けた第一歩です。身の回りの『不思議』から仮説を立てたり、検証方法を試行錯誤しながら自分なりの回答にたどりつく過程は、予測困難な現代社会を育む子供たちにとって大切な体験です。夏休みに取り組んだ研究や発見の成果を形にすること、また表彰してもらえる本事業は効率面では課題はあるものの大変効果の高い取組みと考えます。また、著名人である米沢富美子氏に作品選定、表彰式にも参加いただいております、参加者にも好評をいただいております。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時29分47秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00902	小中一貫教育推進事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開		
予算事業	11323	01	10	01 03 03 05 01
所属長	植田 聡	担当者（内線）大坪 直子（669-238）		
根拠法令等	学校教育法第20条、38条 学校教育法施行規則第24条、53条			
事業開始年度	平成16年度	直近の改正	平成26年度	
改正内容	小中一貫教育推進事業に小中一貫教育校千里みらい夢学園推進事業を統合			
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	小中一貫教育校（千里みらい夢学園）を含む公立小・中学校		
目標	各中学校ブロックにおいて指導の充実及び指導力、学校経営力の向上を図る等、小中一貫教育の推進を図る。また、小中一貫教育校においてコミュニケーション力の育成を課題においた小中9年間の英語教育研究を行う。		
結果	各中学校ブロックにおいて、小中一貫教育について研究し実践を進めることにより、9年間を見通した教育を行うことが可能になる。また小中一貫教育校が英語教育研究の成果を発信し、研究が一層推進される。		
事業概要	市内全中学校ブロックにおいて、9年間を見通した「めざす子ども像」を共有し、学習指導・生徒指導の充実及び教職員の指導力、学校運営力の向上を図るため、外部から講師を招聘して研究を推進するとともに、研究内容について発信を行う。 小中一貫教育校に専任の英語指導助手を配置し、教育課程特例校として小学校1年生から英語活動を実施するとともに、小学校6年生は毎週金曜日に中学校に登校し、中学校教員の授業を受けるなど、小中連携への取組の推進を図る。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,210	1,121	1,210	1,210	1,210
人件費職員数(人)	0.90	0.90	0.70	0.70	0.70
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	7,353	7,110	5,637	5,637	5,562
総事業費(A+B)	8,563	8,231	6,847	6,847	6,772
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,563	8,231	6,847	6,847	6,772
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,563	8,231	6,847	6,847	6,772
財源計(C+D)	8,563	8,231	6,847	6,847	6,772

所属	指導室
事務事業番号	00902

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	小中一貫教育校（千里みらい夢学園）でのAETによる英語活動の取組を推進する。	時間	目標値	1,200.00	720.00	720.00
			実績値	1,200.00	710.00	
			達成度(%)	100.00	98.60	
目標値の積算方法	小中一貫教育校（千里みらい夢学園）でのAETによる3校での英語活動時間数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	6.86	9.64	
			一般財源(千円)	6.86	9.64	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	千里みらい夢学園における小中一貫教育推進会議への指導主事出席回数	回	目標値	10.00	10.00	10.00
			実績値	10.00	10.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	千里みらい夢学園における小中一貫教育推進会議実施回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	823.10	684.70	
			一般財源(千円)	823.10	684.70	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	小中一貫教育校（千里みらい夢学園）でのAETによる英語活動の取組成果を各中学校ブロックへ発信する。	回	目標値	1.00	1.00	1.00
			実績値	1.00	1.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	英語活動の公開授業における研究成果の発表回数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	8,231.00	6,847.00	
			一般財源(千円)	8,231.00	6,847.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	千里みらい夢学園以外の17中学校ブロックにおける小中一貫教育推進のための取組回数	回	目標値	459.00	459.00	459.00
			実績値	459.00	459.00	
			達成度(%)	100.00	100.00	
目標値の積算方法	会議(12)、児童生徒校種間交流(3)、オープンスクール(3)、交換授業(4)、研究授業(3)、合同研修(2)	単位当たりコスト	総事業費(千円)	17.93	14.92	
			一般財源(千円)	17.93	14.92	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適切である。(理由：本市リーディングスクールである小中一貫教育校（千里みらい夢学園）への専任の英語指導助手配置による英語活動の取組推進のため、また、小中一貫教育校（千里みらい夢学園）以外の17中学校ブロックにおける小中一貫教育推進のために必要である。)</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、おおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、小中一貫教育校（千里みらい夢学園）以外の17中学校ブロックにおける研究及び実践等の取組について、より活性化させる必要がある。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	小中一貫教育推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00902				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点		
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。		
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点	
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。		
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点	
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。		
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点	
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。		
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点	
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。		
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点	
		②事業の目的と受益者が一致していますか。		
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点	
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。		
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点	
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。		
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点	
		①単位当たりコストは適正ですか。		
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点	
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。		
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点	
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。		
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点	
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。		
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。		
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点	
		②サービスの水準は適正ですか。		
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点	
		③適正な受益者負担を求めていますか。		
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点	
(5) 持続可能性 (20点)	18	④公平性を確保するための取組みをしていますか。		
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点	
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点	
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。		
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点	
評価点合計 (100点満点)	88	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。		
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点	
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。		
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点	
		一 ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))		

所属名	指導室	事務事業番号	00902
-----	-----	--------	-------

2. 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

市内全中学校ブロックにおいて、「小中一貫教育カリキュラム」の作成に着手した。また、道徳公開授業(ブロック代表授業)や各教科研究授業をはじめとした合同授業研究・研修会の開催等により、小中一貫教育を意識した中学校ブロックの取組が市教職員の指導力向上につながった。

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input checked="" type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>市内全中学校ブロックにおいて、9年間を見通した「めざす子ども像」を共有し、学習指導・生徒指導の充実及び教職員の指導力、学校運営力の向上を図るため、外部から講師を招聘し、研究を進めている。各校及び各ブロックの取組のステップアップを図るとともに、増加している若年層(経験年数の少ない)の教職員の意識を高めるため、テーマや取組内容を見直した「吹田市小中一貫教育実施プランⅡ」を作成し、取組の充実をめざしている。小中一貫教育校(千里みらい夢学園)は、本市小中一貫教育のリーディングスクールとして、専任の英語指導助手を活用し、小中9年間の英語教育研究をはじめ、様々な取組を推進している。英語指導助手からの生きた英語を学ぶ習慣が定着しており、その取組の様子について研究発表会を実施し、市内外に発信した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

平成27年度から「英語教育に関するもの」を「英語教育推進事業」に移管

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時30分22秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00903	環境教育推進事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開				
予算事業	11324	01	10	01	03 03 06 01	環境教育推進事業（教育指導費）
所属長	植田 聡				担当者（内線）浦 憲太（669-236）	
根拠法令等						
事業開始年度	平成14年度	直近の改正	平成19年度			
改正内容	ピオトープ整備事業の事業一部変更して実施					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他				
対象	環境教育に取り組む公立小・中学校の児童・生徒				
目標	学校ピオトープ・緑のカーテン等で学習環境を整備し、地域人材の支援を得ながら体験的な環境学習の充実を図る。				
結果	体験的な活動を通して、自然環境への認識を深め、循環型社会の担い手として、社会に貢献する態度を養う。				
事業概要	学校ピオトープ及び、緑のカーテン作り等の体験的な環境学習を推進するとともに、地域人材の支援を得ながら環境教育の充実を図る。また、必要に応じ設置済み学校ピオトープの修繕を行う。				
実施方法	■ 直接実施				
	□ 委託又は一部委託	委託先①			
		委託先②			
		委託先③			
	□ 補助金・負担金	主な委託内容			
交付先①					
交付先②					
□ その他	交付先③				
		内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	200	210	200	200	200
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	1,017	1,000	1,006	1,006	995
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	1,017	1,000	1,006	1,006	995
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,017	1,000	1,006	1,006	995
財源計(C+D)	1,017	1,000	1,006	1,006	995

所属	指導室
事務事業番号	00903

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	当該年度における、新規のピオトープ・緑のカーテン実施校及び既存のピオトープ整備校		目標値	3.00	2.00	2.00
			実績値	2.00	1.00	
			達成度(%)	66.70	50.00	
目標値の積算方法	当該年度実施校	単位当たりコスト	総事業費(千円)	500.00	1,006.00	
			一般財源(千円)	500.00	1,006.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容	自然環境への認識を深め、循環型社会の担い手として、社会に貢献する態度を養う。	達成状況	当該年度実施校にて実施。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。ピオトープの維持管理費用、また新規で緑のカーテンを設置するための費用と希望する学校数を考慮すれば妥当性があると考え。</p> <p>【指標数値の評価】 指標数値の推移を踏まえるとおおむね妥当だが、今後、本事業の内容や目的を各校に周知させ、環境学習のきっかけとすることが必要である。</p> <p>【今後の方向性】 事業費の分析や指標数値の分析を踏まえると、ピオトープ、緑のカーテンを通して自然環境への認識を深め、循環型社会の担い手として、社会に貢献する態度を養うためには継続して実施校を増やしていくことが必要である。</p>

事務事業分析シート

2018/6/1410:27

所属名	指導室	事業名	環境教育推進事業	事業区分	その他
事務事業番号	00903				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

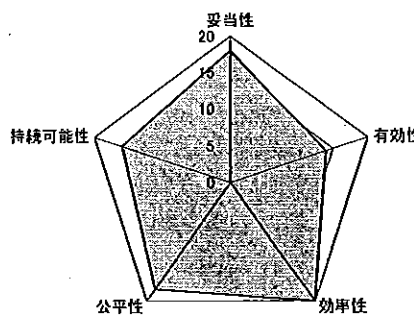
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		b. 事業の目的と受益者は概ね一致している。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	20	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(6点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができませんか。	
		b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点
		※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00903
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成29年度は、学校ピオトープを新規で1校に設置し17校に。また、緑のカーテンを11校で実施した。「総合的な学習の時間」等における環境教育として、地域人材を活用しながら、学校ピオトープ、緑のカーテンをとおして、体験学習の推進に努めている。また、JAをはじめ農業委員会や農家の協力のもと、学童農園事業を実施し、20校の小学校で、6年生が田植え・稲刈りを行う体験学習も実施した。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時32分09秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00904	学校体育助成事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成		
予算事業	11325	01	10	06
所属長	植田 聡	02	04	01
根拠法令等	吹田市学校体育活動助成金交付要領			
事業開始年度	不明	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	公立小・中学校の児童・生徒		
目標	児童・生徒を支援することで、体育的活動の運営・参加ができるようにする。		
結果	児童・生徒を様々な体育的活動に参加させることにより、運動に対する肯定感を高め、運動好きな子どもを育成することで、基礎体力・運動能力の向上を図る。		
事業概要	児童生徒対外競技交通機関使用料、府等の中学校体育連盟への負担金、小中学校体育連盟への補助金といった学校体育振興に関する事業。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①		吹田市小学校体育連盟補助金	
交付先②		吹田市中学校体育連盟補助金	
<input type="checkbox"/> その他	交付先③	府などの中学校体育連盟への負担金	
		内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,637	3,714	4,538	3,968	4,524
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	4,454	4,504	5,344	4,774	5,319
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,454	4,504	5,344	4,774	5,319
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,454	4,504	5,344	4,774	5,319
財源計(C+D)	4,454	4,504	5,344	4,774	5,319

所属	指導室
事務事業番号	00904

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	児童生徒対外競技交通機関使用料、府等中学校体育連盟への負担金、小中学校体育連盟への補助金など学校体育振興に関する事業。	目標	児童・生徒を様々な体育活動に参加させる。
成果内容	児童・生徒を様々な体育的活動に参加させることにより、運動に対する肯定感を高め、運動好きな子どもを育成することで、基礎体力・運動能力の向上を図る。	達成状況	概ね達成できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 児童生徒の様々な体育活動への参加が可能であるため、事業成果は妥当であり、改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 基礎体力の向上、健康維持は、社会を生き抜くための基盤である。また、スポーツにより精神力の鍛錬を図ることもでき、「健やかな体」と「豊かな心」の育成において、スポーツの担う役割は重要である。 児童・生徒にスポーツへの積極的な参加を支援する本事業は、体づくりの推進を図る体育活動の充実のため必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	学校体育助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00904				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	16	③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	16	③適正な受益者負担を求めていますか。	
		b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は高い。もしくは比較・分析までできていない。(1点)	1点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができそうですか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	82	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00904
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>児童・生徒には、様々な体育活動に参加させることにより、基礎体力の向上を図るとともに総合的人間力の育成をめざしている。本市が様々な体育活動を助成することで、児童・生徒の運動能力の向上に寄与している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時32分44秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00905	宿泊行事助成事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成		
予算事業	11326	01	10	06 02 04 02 01
所屬長	植田 聡	担当者（内線）前田 壮賢（669-235）		
根拠法令等	宿泊行事付添看護師経費助成要領			
事業開始年度	不明	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乘せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他		
対象	公立小・中学校の児童・生徒		
目標	児童・生徒を、安全かつ健康的な条件のもと宿泊行事に参加させる。		
結果	宿泊行事における、児童・生徒の安全が確保され、健康的な活動ができる。		
事業概要	宿泊を伴う学校行事における児童・生徒の健康の管理と迅速な対応に向けて、看護師が付き添う際の必要な経費を助成する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	4,855	4,442	4,846	4,746	4,846
人件費職員数(人)	0.50	0.50	0.40	0.40	0.50
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	4,085	3,950	3,221	3,221	3,973
総事業費(A+B)	8,940	8,392	8,067	7,967	8,819
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	8,940	8,392	8,067	7,967	8,819
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	8,940	8,392	8,067	7,967	8,819
財源計(C+D)	8,940	8,392	8,067	7,967	8,819

所属	指導室
事務事業番号	00905

2頁
平成30年 6月13日
19時32分44秒作成

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	看護師配置のべ回数	回	目標値	108.00	108.00	108.00
			実績値	97.00	105.00	
			達成度(%)	89.80	97.20	
目標値の積算方法	2回/1校×54校	単位当たりコスト	総事業費(千円)	86.52	75.88	
			一般財源(千円)	86.52	75.88	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
旅行・集団宿泊的行事における、児童・生徒の安全が確保され、健康的な活動ができる。	達成状況 全ての学校に看護師の配置ができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。看護師の配置が概ねできているため。</p> <p>【指標数値の評価】 指数数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 児童・生徒の健康や安全を保障し、豊かな体験活動等教育活動を推進することは大切な取組である。旅行・集団宿泊的行事等において、児童・生徒の安全が確保され、健康的な活動を保障する上で、この事業は必要である。</p>

事務事業分析シート

2018/6/1410:28

所属名	指導室	事業名	宿泊行事助成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00905				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。 a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。 a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。 b. 実施意義は今もある。(3点)	3点
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。 b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。 b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。 a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。 a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。 b. 目標をやや下回るが、具体的な成果を上げている。(3点)	3点
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。 a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。 a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。 b. 他の事業・取組との連携を検討している。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。 b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。 a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。 a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。 b. 受益者負担を求めているが、見直しを検討する余地がある。(3点)	3点
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。 a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(6点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。 a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。 b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。 a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00905
-----	-----	--------	-------

2-各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>各学校での宿泊を伴う学校行事において、看護師が付き添い、児童・生徒の健康の管理と迅速な対応により、宿泊学習中の児童・生徒の健康・安全を保障できるようにしている。児童・生徒の安全が確保され、健康的な活動を保障する上で、この事業は必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時33分10秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00906	中学校配慮を要する生徒に係る空調設備整備事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業				
所属長	植田 聡	担当者（内線）岡田 敦（669-236）		
根拠法令等	学校教育法第75条（昭和23年3月31日法律第26条）			
事業開始年度	平成13年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	公立中学校の支援学級、通級指導教室に在籍する生徒		
目標	体温調節の困難な病虚弱生徒や、計画的な機能訓練が必要な生徒の学習や活動を、適切な環境のもと効果的に行うことができる。		
結果	生徒一人ひとりの状況や発達に応じた適切な教育を行い、すべての生徒がともに学び、ともに育つ教育を推進することができる。		
事業概要	新たにエアコン設置が必要となった支援学級、通級指導教室において、体温調節の困難な病虚弱生徒や静かな環境で言葉の機能訓練等の必要な生徒の学習や活動が効果的に行われるように、エアコンを設置する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
			主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	9,087
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
人件費単価	8,170	8,170	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	9,087
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	9,087
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	9,087
財源計(C+D)	0	0	0	0	9,087

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	支援学級・通級指導教室へのエアコン設置校数	校	目標値	0.00	0.00	3.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法	新たにエアコン設置が必要となった支援学級、通級指導教室	単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容		校	目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 体温調節の困難な病虚弱生徒や、計画的な機能訓練が必要な生徒の学習や活動を、適切な環境のもと効果的に行われる。	達成状況 平成26年度中に、すべての支援学級に空調設備が完了。平成27年度以降は引き続き実情に応じて環境整備を実施。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】</p> <p>【進捗状況の評価】</p> <p>【今後の方向性】 今後も障がいの重度化・多様化、在籍数の増加通級教室の増学級等が予想されるため、引き続き実情に応じた環境整備が必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	中学校配慮を要する児童に係る空調設備整備事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	00906				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	16	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
o. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組む、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
b. 現在の事業のあり方で、一定の事業効果は得られるが、見直しにより、さらに効果的な事業にできる余地がある。(3点)	3点		
評価点合計 (100点満点)	90	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00906
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>体温調節のできない病弱・虚弱であったり、静かな環境で言葉や情緒安定等の機能訓練等、個別の学習課題や活動を行うため、支援学級の1教室ずつに設置を進めてきた。平成27年度に全教室に設置が完了しているが、障がいの重度化・多様化、在籍数の増加による教室の増加が今後も予想される。 効果的で充実した学習活動等を行うためにも、引き続き実情に応じた環境整備が必要である。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時33分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00907	小学校副読本作成事業							
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり							
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり							
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開							
予算事業	11434	01	10	02	01	04	01	01	小学校副読本作成事業（小学校管理運営費）
所属長	植田 聡		担当者（内線）浦 憲太（669-236）						
根拠法令等									
事業開始年度	不明	直近の改正	平成26年度						
改正内容	社会・体育副読本作成事業を小学校副読本作成事業に統合								
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）								

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	【社会科】公立小学校3・4年生児童【体育科】公立小学校1・3・5年生児童		
目標	【社会科】自分たちが住んでいる地域社会の学習内容の充実 【体育科】楽しく運動ができ、動きを理解し、運動能力の向上を目指す		
結果	【社会科】地域学習を円滑に進め、社会的な物の見方を育てる学習ができる【体育科】児童が意欲的に取り組むための学習ができ、体力・運動能力を向上させることができる		
事業概要	小学校の社会科、体育の副読本を作成し、それぞれに授業等で活用し、学習への理解や円滑な推進を図る。		
実施方法	■ 直接実施		
	□ 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	□ 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
□ その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	3,948	3,733	4,078	4,078	9,967
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	1,589
総事業費(A+B)	4,765	4,523	4,884	4,884	11,556
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	4,765	4,523	4,884	4,884	11,556
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,765	4,523	4,884	4,884	11,556
財源計(C+D)	4,765	4,523	4,884	4,884	11,556

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	副読本を活用することにより全体の授業の質を一定の水準に高め、学習を円滑に進める。	目標	全ての対象児童が活用する。
成果内容	副読本を活用することにより、運動能力の向上、社会的な見方を育てる効果を発揮している。	達成状況	児童が活用しやすく学びが深まる学習活動ができています。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 事業費は適切である。各学年の学習内容を踏まえると、現状の配付学年は妥当である。</p> <p>【指標数値の評価】 これまでの副読本の活用状況や子供たちの様子を踏まえると、社会・体育ともに副読本の作成が、子供たちの深い学びや、技術の習得につながっている。</p> <p>【今後の方向性】 (社会) 児童が住んでいる地域社会についての学習内容が充実した副読本の編集や作成を行い、活用することは、児童が社会のしくみに興味をもって学習を進めることにつながり、吹田・大阪が好きになるなど地域社会に対する誇りと愛情の育成に資するため、継続して実施する。</p> <p>(体育) 体育の授業において、具体的な運動・ゲームの提案だけでなく、児童がめあてをもって体育学習に取り組むための手だてとなっており、学習現場での活用場面が多い。その結果、児童が意欲的に運動に取り組み、体力・運動能力の向上につながっている。さらに、本市の体育学習の特徴でもある泳力の向上に対応した編集により、児童が泳力を身に付けることに効果を発揮しているため、継続して実施する。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	小学校副読本作成事業	事業区分	その他
事務事業番号	00907				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

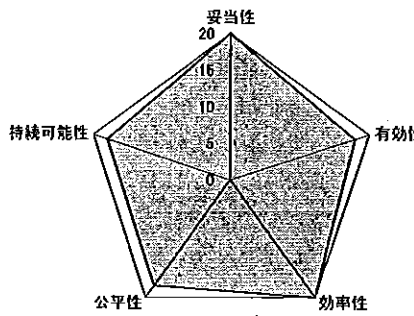
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	18	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	20	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
a. 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	18	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
b. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準はやや高い。(3点)	3点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	94	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00907
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>社会科の学習において、児童たちが住んでいる地域社会についての副読本活用することは、地域社会に対する誇りと愛情の育成に資する。また、体育の授業において、具体的な運動・ゲームの提案だけでなく、児童がめあてを持って体育学習に取り組むための手だてとなっており、学習現場での活用場面が多い。その結果、児童が意欲的に運動に取組み、体力・運動能力の向上につながっている。さらに、本市の体育学習の特徴でもある泳力の向上効果を発揮している。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時34分12秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	00908	小学校水泳安全指導事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	14	教育内容の充実／健康な児童・生徒の育成				
予算事業	11435	01	10	02	01 05 02 01	小学校水泳安全指導事業（小学校管理運営費）
所属長	植田 聡	担当者（内線）植田 陽介（669-239）				
根拠法令等						
事業開始年度	平成13年度	直近の改正	平成22年度			
改正内容	夏休みのプールの安全指導員に対する報償費を廃止。委託から直営に変更。					
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乘せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他	
対象	公立小学校児童及び臨海学習実施小学校	
目標	児童の泳力を身につけるとともに、水泳学習での安全を保障する。	
結果	児童が泳力を身に付けることにより、自分の命を守ることができるようにする。	
事業概要	小規模校における水泳安全指導員及び小学校の臨海学習時に水泳安全指導員を配置することで、安全な水泳指導を行うことができる。	
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①
		委託先②
		委託先③
		主な委託内容
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①	
	交付先②	
	交付先③	
<input type="checkbox"/> その他	内容	

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	1,580	1,263	1,570	1,304	1,500
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	2,397	2,053	2,376	2,110	2,295
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	2,397	2,053	2,376	2,110	2,295
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,397	2,053	2,376	2,110	2,295
財源計(G+D)	2,397	2,053	2,376	2,110	2,295

所属	指導室
事務事業番号	00908

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	臨海学習実施校のうち指導員を配置した校数 (ただし、大学の単位認定に関わる学生の指導員は、報償金の支払いができない)	校	目標値	31.00	31.00	31.00
			実績値	18.00	15.00	
			達成度(%)	58.10	48.40	
目標値の積算方法	臨海学習実施校全てが指導員の配置を希望したときの校数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	114.06	140.67	
			一般財源(千円)	114.06	140.67	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	目標
成果内容 児童が泳力を身につけることにより、自分の命を守、基礎体力の向上が図られた。	達成状況 達成している。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	評価の説明
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定	<p>【事業費等の評価】事業費は適切である。水泳管理基準を満たす監視体制を、各学校に保障することができるため。</p> <p>【指標数値の評価】安全指導員を希望する学校において、指導員の配置が為されているため、現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】臨海学習を含む水泳指導時の安全監視体制は直接児童の命に係わることなので大変重要である。学校の水泳管理基準等では、特に、水泳授業を行う場合は、大プールのみ使用の場合は最低でも3人、小プール併用でも5人以上の監視体制をとるよう規定している学校が多い。しかし、学年1クラスや2クラスの小規模校(全校で11学級以下)にとっては、担任だけでは監視体制が不十分になることが多く、管理職等の応援体制を組むことが多い。しかし、その応援体制も人員・時間割の関係で、水泳学習期間中常時とれる保障がなく、本事業を継続することが児童の水泳学習時の安全確保に直接結びつく。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	小学校水泳安全指導事業	事業区分	その他
事務事業番号	00908				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

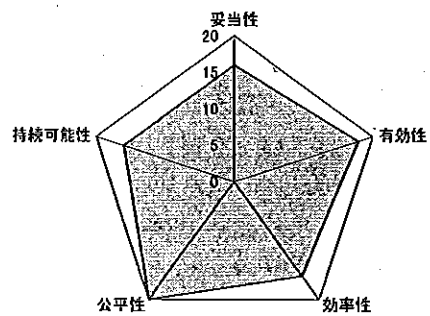
評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	16	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		b. 施策や政策課題の推進にとって、効果のある事業である。(3点)	3点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	16	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		c. 事業費、市負担とも大幅に増大している。(1点)	1点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	00908
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小学校の児童を対象に安全な指導体制の下、適切な水泳指導を行うことにより、児童に豊かで健全な生活を保障し、水難事故等から身を守る力を身につけるよう指導している。また、臨海学習時に安全指導員を配置し、安全な指導体制の下、指導の充実を図っている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時34分47秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01342	吹田市立学校エレベーター設置事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	21	教育環境の充実／教育施設等の充実		
予算事業				
所属長	植田 聡	担当者（内線）岡田 敦（669-239）		
根拠法令等	障害者基本法（教育）第十六条（平成23年8月5日改正）学校施設の整備その他の環境の整備			
事業開始年度	平成13年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input checked="" type="radio"/> 建設事業 <input type="radio"/> その他		
対象	公立小・中学校に在籍する、車椅子等を利用する、自力での校舎内上下移動が困難な児童・生徒		
目標	エレベーターの活用により、自力での校舎内の上下移動がスムーズになり、他の児童・生徒と同じリズムで学校生活を送る。		
結果	エレベーターの設置により、安全で迅速な教室移動が可能となり、児童・生徒の円滑な学校生活が保障される。		
事業概要	公立小・中学校に在籍する、自力での校舎内上下移動が困難な児童・生徒の教育及び学校生活を保障するため、エレベーターを設置する。		
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	主な委託内容		
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①		
	交付先②		
	交付先③		
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	0	0	4,610
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.10
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	0	0	4,610
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	0	0	4,610
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	4,610
財源計(C+D)	0	0	0	0	4,610

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	吹田市小・中学校に在籍する、自力での校舎内上下移動が困難な児童・生徒の教育及び学校生活を保障するため、エレベーターを設置する。	目標	車椅子等を利用する、自力での校舎内上下移動が困難な児童・生徒の在籍する学校に、エレベーターを設置する。
成果内容	エレベーターの活用により、階段昇降機の活用では校舎内の上下移動が困難な生徒の移動がスムーズになり、他の生徒と同じリズムで学校生活を送った。	達成状況	エレベーターが必要な児童・生徒の在籍する全ての学校に設置できている。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定		
評価の説明	【事業費等の評価】		
	【進捗状況の評価】		
	【今後の方向性】 吹田市小・中学校に在籍する、車椅子等を利用する、自力での校舎内上下移動が困難な児童・生徒にとって、エレベーターの活用により上下移動が安全に行え、安全な教室移動が可能となり、円滑な学校生活が保障される。今後も吹田市小・中学校に在籍する児童・生徒の状況とエレベーター設置の必要性を総合的に判断しながら計画的な設置を目指す。		

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	吹田市立学校エレベーター設置事業	事業区分	建設事業
事務事業番号	01342				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	14	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1点
(3) 効率性 (20点)	14	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		c. 事業の進捗はかなり遅れている。(1点)	1点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		c. 他の事業・取組との連携は検討していない。(1点)	1点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
評価点合計 (100点満点)	86	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組をしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	86	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	01342
-----	-----	--------	-------

2. 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>吹田市小・中学校に在籍する、車いす等を利用する、自力での校舎内上下移動が困難な児童・生徒にとって、エレベータの活用により上下移動が安全な教室移動が可能となり、円滑な学校生活が保障される。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時35分24秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01768	小規模校支援事業				
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり				
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり				
細節	12	教育内容の充実／学ぶ楽しさを実感できる教育の展開				
予算事業	11715	01	10	01	03 05 08 01	小規模校支援事業（教育指導費）
所属長	植田 聡	担当者（内線）櫻井 仁之（669-240）				
根拠法令等						
事業開始年度	平成28年度	直近の改正				
改正内容						
市単独事業区分	<input checked="" type="radio"/> 全部 <input type="radio"/> 一部（上乗せ、横出し等あり） <input type="radio"/> なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）					

<事業分析>

事業区分	<input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 建設事業 <input checked="" type="radio"/> その他				
対象	小学校小規模校				
目標	12学級以下の小学校小規模校に市臨時雇用員（教員）を配置する。				
結果	小学校小規模校での生徒指導における組織対応体制が構築される。				
事業概要	12学級以下の小学校では、担任以外の教員が1名しかおらず、問題行動等の生徒指導上の課題に対して、組織的な対応が困難な状況にある。小学校小規模校に対して、教員1名を配置することで、組織対応体制の構築を図る。				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施				
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①			
		委託先②			
		委託先③			
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容			
交付先①					
交付先②					
<input type="checkbox"/> その他	内容				

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	8,985	6,475	9,001	8,948	4,634
人件費職員数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	1,634	1,580	1,611	1,611	1,589
総事業費(A+B)	10,619	8,055	10,612	10,559	6,223
特定財源(C)	38	21	31	23	12
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	38	21	31	23	12
市負担(D)	10,581	8,034	10,581	10,536	6,211
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	10,581	8,034	10,581	10,536	6,211
財源計(C+D)	10,619	8,055	10,612	10,559	6,223

所属	指導室
事務事業番号	01768

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	小学校小規模校に市臨時雇用員配置校数	校	目標値	5.00	3.00	1.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	40.00	66.70	
目標値の積算方法	小学校小規模校数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,027.50	5,279.50	
			一般財源(千円)	4,017.00	5,268.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	小学校小規模校への市臨時雇用員配置人数	人	目標値	5.00	3.00	1.00
			実績値	2.00	2.00	
			達成度(%)	40.00	66.70	
目標値の積算方法	小学校小規模校数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	4,027.50	5,279.50	
			一般財源(千円)	4,017.00	5,268.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】 12学級以下の小学校小規模校全てに配置できているので、事業費は適切である。</p> <p>【指標数値の評価】 12学級以下の小学校小規模校全てに配置できているので、事業成果は妥当であり、改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】 小学校小規模校における生徒指導上の課題に対する組織的な対応体制の構築は、喫緊の課題である。今後も、12学級以下の小学校小規模校全ての配置を継続する。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	小規模校支援事業	事業区分	その他
事務事業番号	01768				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点		
(2) 有効性 (20点)	16	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
b. 目標を下回る進捗状況である。(3点)	3点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	14	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		b. 迅速なサービス提供のための取組について検討している。(3点)	3点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
b. 他の事業・取組との連携を検討をしている。(3点)	3点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	16	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		b. サービスの水準は高く、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
e. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要がない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的と比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	84	← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	01768
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>小学校小規模校では、学校問題等に組織的な対応がとりづらく、臨時雇用員を配置することで、課題に対して組織的な対応を取ることができている。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時36分00秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01769	小学校英語マスター事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	16	教育内容の充実／国際化・情報化社会に対応した教育の展開		
予算事業	11728	01	10	01 03 03 07 01 小学校英語マスター事業（教育指導費）
所属長	植田 聡	担当者（内線）橋本 道信（669-238）		
根拠法令等				
事業開始年度	平成28年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他		
対象	本市小学校6年生		
目標	オオサカイングリッシュビレッジを利用し、英語でのコミュニケーションを体験する機会を提供する。		
結果	英語でのコミュニケーションを図ろうとする意欲を向上させる。		
事業概要	英語でのコミュニケーションに対する意欲を向上させる機会として、小学校6年生を対象に、オオサカイングリッシュビレッジを利用したコミュニケーション体験を実施する。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施		
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①	
		委託先②	
		委託先③	
	<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	主な委託内容	
交付先①			
交付先②			
<input type="checkbox"/> その他	内容		

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	6,385	6,080	6,023	6,023	6,550
人件費職員数(人)	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10
人件費単価	8,170	7,900	8,052	8,052	7,945
人件費総額(B)	817	790	806	806	795
総事業費(A+B)	7,202	6,870	6,829	6,829	7,345
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	7,202	6,870	6,829	6,829	7,345
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	7,202	6,870	6,829	6,829	7,345
財源計(C+D)	7,202	6,870	6,829	6,829	7,345

所属	指導室
事務事業番号	01769

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「すいたえいごWEEK」参加人数	人	目標値	3,505.00	3,334.00	3,350.00
			実績値	3,302.00	3,177.00	
			達成度(%)	94.20	95.30	
目標値の積算方法	小学校6年生の児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.08	2.15	
			一般財源(千円)	2.08	2.15	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容	「すいたえいごWEEK」のアンケート結果	人	目標値	3,505.00	3,334.00	3,344.00
			実績値	2,464.00	2,947.00	
			達成度(%)	70.30	88.40	
目標値の積算方法	「すいたえいごWEEK」のアンケート結果「英語を使って話すことができた」に対して肯定的に回答した児童数	単位当たりコスト	総事業費(千円)	2.79	2.32	
			一般財源(千円)	2.79	2.32	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容		目標	
成果内容		達成状況	

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費等の評価】事業費は適正である。(理由：児童の英語学習へ興味、関心、意欲の向上について大きな成果を上げていると考えられるため。)</p> <p>【指標数値の評価】指標数値の推移を踏まえると、事業成果は現状で妥当であり改善の余地はない。</p> <p>【今後の方向性】事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする数値が出ており事業費も適正であるため、継続すべきである。本市においては、9年間の英語教育の充実を図るため、平成29年度から36小学校全校が教育課程特例校とし、小学校1年生からの外国語活動を実施している。また、小学校6年生に英語に触れる機会を提供するため、平成28年度からすいたえいごWEEKを開催し、英語に対する関心を高め、英語を使ってコミュニケーションを図る楽しさを味あわせることができた。今後もグローバル社会を生き抜くコミュニケーション能力の育成を図るために、この事業の継続は必要である。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	小学校英語マスター事業	事業区分	その他
事務事業番号	01769				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【プルダウンメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	20	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点		
		④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
a. 客観的なデータで市民ニーズが高いことを把握している。(5点)	5点		
(2) 有効性 (20点)	20	①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		a. 活動指標や有効指標には、他市との比較も可能な、それぞれ別の定量的な指標設定をしている。(5点)	5点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
		③事業は目標どおりに進捗していますか。	
a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点		
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点		
(3) 効率性 (20点)	18	①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
		②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点		
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点		
(4) 公平性 (20点)	18	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		b. 特定の者を対象としているが、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(3点)	3点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点		
		④公平性を確保するための取組をしていますか。	
a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点		
(5) 持続可能性 (20点)	20	①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
		③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
a. 定期的な比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点		
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点		
評価点合計 (100点満点)	96	※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

所属名	指導室	事務事業番号	01769
-----	-----	--------	-------

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

--

3 事務事業の現状分析

(1)本事業の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input type="checkbox"/> その他
(2)各視点からの評価結果			
(3)現状分析	<p>平成28年度から事業を開始。全小学校の6年生児童が、エキスポンティーにあるオオサカイングリッシュビレッジで英語によるコミュニケーション体験を行った。実施後の参加者アンケートにおいても満足感・達成感を得る回答となっており、目標通り英語に楽しみながら触れる活動の機会を提供することができた。今後ますます、児童や保護者が外国語である英語や英語指導助手との触れ合いの機会に対して関心が高まることから本事業の必要性は高まる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)

<p>平成29年度には、全小学校が文部科学省から指定を受けた教育課程となり、小学校1年生から、外国語活動を実施している。</p>
--

事務事業評価（確認書）

1頁
平成30年 6月13日
19時36分38秒作成

評価年度	平成29年度	所属	5001050000	指導室
総合計画	吹田市第3次総合計画			
基本計画	吹田市基本計画			

<基本事項>

事務事業番号	01795	いじめ等防止対策事業		
章	04	個性がひかる学びと文化創造のまちづくり		
節	01	学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり		
細節	13	教育内容の充実／心豊かな児童・生徒の育成		
予算事業				
所属長	植田 聡		担当者（内線）櫻井 仁之（669-2041）	
根拠法令等	いじめ防止対策推進法			
事業開始年度	平成29年度	直近の改正		
改正内容				
市単独事業区分	● 全部 ○ 一部（上乗せ、横出し等あり） ○ なし（国・府制度もしくは法令等で市が実施する義務あり）			

<事業分析>

事業区分	○ 内部管理 ○ 建設事業 ● その他			
対象	児童、生徒の生命、心身または財産に重大な被害が生じた疑いのある事案が生じた小学校及び中学校。			
目標	市立小学校及び中学校の児童、生徒の生命、心身または財産に重大な被害が生じた疑いのある事案について、調査、審議等を行うことでいじめ等の全容を解明し、再発防止に取り組む。			
結果	平成30年度も調査を継続中。			
事業概要	市立小学校及び中学校の児童、生徒の生命、心身または財産に重大な被害が生じた疑いのある事案について、調査、審議等を行う。 第三者が調査、審議等を行うことでいじめ等の全容を解明し、再発防止に取り組む。			
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施			
	<input type="checkbox"/> 委託又は一部委託	委託先①		
		委託先②		
		委託先③		
			主な委託内容	
<input type="checkbox"/> 補助金・負担金	交付先①			
	交付先②			
	交付先③			
<input type="checkbox"/> その他	内容			

<事業費>

	平成28年度		平成29年度		平成30年度
	予算額	決算額	予算額	決算見込額	予算額
事業費(A)	0	0	345	396	345
人件費職員数(人)	0.00	0.00	0.10	0.10	0.20
人件費単価	0	0	0	0	0
人件費総額(B)	0	0	0	0	0
総事業費(A+B)	0	0	345	396	345
特定財源(C)	0	0	0	0	0
国	0	0	0	0	0
府	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
市負担(D)	0	0	345	396	345
地方債	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	345	396	345
財源計(C+D)	0	0	345	396	345

所属	指導室
事務事業番号	01795

<活動指標>

(1) 活動指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(1) 活動指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

<成果指標>

(2) 成果指標①		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	
(2) 成果指標②		単位	項目/年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指標内容			目標値	0.00	0.00	0.00
			実績値	0.00	0.00	
			達成度(%)	0.00	0.00	
目標値の積算方法		単位当たりコスト	総事業費(千円)	0.00	0.00	
			一般財源(千円)	0.00	0.00	

(3) 指標で示すのが困難な場合

活動内容	いじめ防止対策推進法第28条1項に規定する組織として、附属機関たる第三者委員会を設け、公平性・中立性を確保しながら、事実関係を明確にするための調査を行う。	目標	いじめ等の全容を解明し、再発防止に取り組む。
成果内容	公平性・中立性を確保しながら、事実関係を明確にするための調査を行う。	達成状況	公平性・中立性を確保しながら、事実関係を明確にするための調査を進めることができた。調査は、平成30年度も継続中。

<総合評価>

今後の方向性(一次評価)	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 終期の設定
評価の説明	<p>【事業費の評価】 事業費は適切である。</p> <p>【事業数値の評価】 昨年度の実績を踏まえると、事業成果はおおむね妥当だが改善の余地がある。今後、事業成果の目標を達成するためには、活動手段や方法を改善する必要がある。</p> <p>【今後の方向性】 事業費等の分析や指標数値の分析を踏まえると、目標とする効果が出ており事業費も適正であるため、継続するべきである。</p>

事務事業分析シート

所属名	指導室	事業名	いじめ等防止対策事業	事業区分	その他
事務事業番号	01795				

1 各視点からの評価 ※内部管理事務は「公平性」の評価不要

評価の視点	評価点	チェック項目【ブルダウメニューで選択してください。】※各設問5点満点	
(1) 妥当性 (20点)	18	①役割分担の観点から見て、市の関与のあり方は適切ですか。	
		a. 市が関与すべき事業であり、その範囲も担い手も最適である。(5点)	5点
		②この事業を進めることは、施策や政策課題の推進に効果がありますか。	
		a. 施策や政策課題の推進にとって、優先順位の高い重要な事業である。(5点)	5点
		③社会状況の変化や時間の経過に伴い、事業の実施意義が薄れていませんか。	
		a. 実施意義は今も増している。(5点)	5点
(2) 有効性 (20点)	18	④利用者や対象者の減少など、市民ニーズが低下していませんか。	
		b. 市民ニーズは変わらずある。(3点)	3点
		①活動指標・有効指標それぞれに定量的な指標設定を行っていますか。	
		b. 活動指標や有効指標には定量的な指標設定をしている。又は指標設定は困難であるが目標や達成状況は分析している。(3点)	3点
		②事業の目的と受益者が一致していますか。	
		a. 事業の目的と受益者は完全に一致している。(5点)	5点
(3) 効率性 (20点)	18	③事業は目標どおりに進捗していますか。	
		a. 目標を上回る又は目標どおりの進捗状況である。(5点)	5点
		④市民に説明できる具体的な成果を上げていますか。	
		a. 目標以上又は目標どおりの具体的な成果を上げている。(5点)	5点
		①単位当たりコストは適正ですか。	
		a. 単位当たりコストは適正である。(5点)	5点
(4) 公平性 (20点)	20	②迅速なサービスの提供に努めていますか。	
		a. 迅速なサービス提供のための取組を具体的に取り組んでいる。(5点)	5点
		③他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っていますか。	
		a. 他の事業・取組と連携して、事業の効率化を図っている。(5点)	5点
		④事業手法の検討、事務改善に取り組むなど、事業効率の向上に努めていますか。	
		b. 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる。(3点)	3点
(5) 持続可能性 (20点)	20	①サービスの対象範囲は適正ですか。	
		a. 不特定多数を対象としている。(5点)	5点
		②サービスの水準は適正ですか。	
		a. サービスの水準は適正で、受益者以外の市民から見ても理解が得られる。(5点)	5点
		③適正な受益者負担を求めていますか。	
		a. 適正な受益者負担を求めている。又は受益者負担を必要としない理由・根拠がある。(5点)	5点
(5) 持続可能性 (20点)	20	④公平性を確保するための取組みをしていますか。	
		a. 滞納等には速やかに適正な措置を講じており、収納率も高い。又はそのような取組が必要ない事業である。(5点)	5点
		①事業開始当初と比べて、事業費や市負担が大幅に増大していませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増加していない。(5点)	5点
		②今後、対象者の増加等で事業費や市負担が増大する傾向にありませんか。	
		a. 事業費や市負担はほとんど増大しない見込みである。(5点)	5点
評価点合計 (100点満点)	94	③府内類似団体(又は北摂各市)の類似事業と比較・分析していますか。	
		a. 定期的に比較・分析しており、事業費の水準は適正である。(5点)	5点
		④将来的に見て、現在の事業のあり方で、期待する事業効果を得ることができますか。	
		a. 現在の事業のあり方で、期待する事業効果を十分得ることができる。(5点)	5点
		← ※自動計算します。 (内部管理事務は公平性の評価点がないため、各視点の合計×1.25(小数点以下切捨て))	

2 各視点からの評価の点数では表れない事項(必要に応じて記載)

3 事務事業の現状分析

(1) 本事業の位置付け	<input type="checkbox"/> 主要な政策課題としての取組	<input type="checkbox"/> 部として重点的な取組	<input checked="" type="checkbox"/> その他
(2) 各視点からの評価結果	<div style="text-align: center;"> </div>		
(3) 現状分析	<p>本市の小中学校において発生したいじめの重大事態について、公平性・中立性を確保しながら、事実関係を明確にするための調査を行っているところであり、今後、重大事態が生じた際に迅速に対処することが求められる。</p>		

4 その他(国・府の動向など、当該事業に関する特記事項)